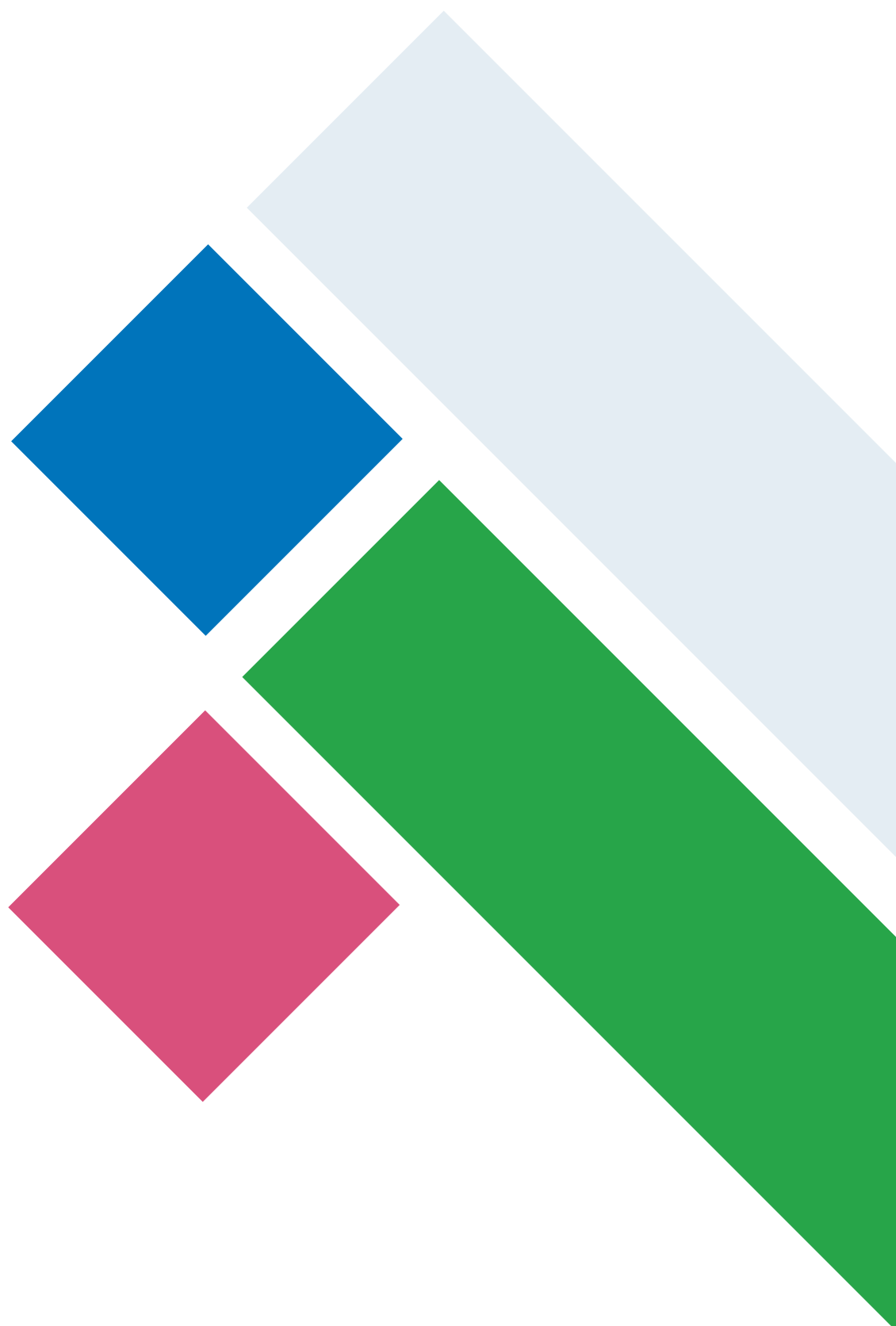




仙 北 市

2025年度 部局経営方針シート



1	総務部	2
2	企画部	5
3	市民福祉部	8
4	観光文化スポーツ部	12
5	農林商工部	15
6	建設部	20
7	教育委員会	23
8	病院事業(医療局)	28

幸福度全国No.1を目指すまち

本市では、幸福度全国No.1という市政理念の実現を目指し、地域を次世代へ継承するため、市民の皆さまの声をお聞きしながら、直面している課題解決や市民の皆さまの喜びにつながるような、結果/成果を重視した施策を推進します。

幸福度の定義

感情的で一瞬しか続かない短い幸せHappinessではなく、身体的、精神的、社会的に良好な状態を持続する長いスパンでの幸せ「Well-being（ウェルビーイング）」を幸福度の定義とします。

部局経営方針とは？

各部局の取組を市民の皆様に広く周知するため、次年度予算編成時期に作成、翌年4月には予算の状況や法令改正、組織再編・人事異動などにより見直しを行います。部局長は部局の経営者であるとの視点から、その権限と責任に基づく経営方針を明らかにするとともに、各部局の役割・使命や取り組むべき課題などを示しています。

7つのあるべき姿

- ①「目標を持ち、やりたいことがある人が多いまち」
- ②「やりたいことにチャレンジしている人が多いまち」
- ③「日々の暮らしで生きがいを感じている人が多いまち」
- ④「暮らしの中で、健康になれるよう努力をしている人が多いまち」
- ⑤「自分のことを大切に思ってくれる人たちがいるまち」
- ⑥「頼れる人がいるまち」
- ⑦「自分の居場所や役割があるまち」



仙北市長 田口知明

2025年度の重点方針

攻めの方針3本の槍

- ①「観光産業並びに情報産業の活性化による若年層の雇用促進」
- ②「徹底した子育て支援」
- ③「全市民が健康を実感できる仕組み作り」

守りの方針3枚の盾

- ①「公共施設等の中期的な視野に基づくスクラップアンドビルド」
- ②「DXを利活用した行政サービスの推進」
- ③「市民の多様なニーズに対応できる人材確保」



2025年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

総務部	部(局)	記入年月日	令和 7 年 4 月 1 日	部(局)長名	大澤 裕司	記入者所属氏名	総務部 大澤 裕司
-----	------	-------	----------------	--------	-------	---------	-----------

1.部の役割・使命	総務部は、市長直轄の下、行政経営の舵取り役を担うほか、各部の円滑な施策推進と連携を調整・支援していく部門になります。 確実な市民サービスを実施するための人材育成と組織力強化、持続可能な行財政基盤の確立、情報を的確に届ける広報の強化、DXを活用した業務効率化の推進、的確な災害対応と安全・安心なまちづくりを実践していきます。	2.部の人的 資源(人) 20250401 現在	正職員	93
			会計年度	18

3・6つの重要視すべき価値	(1) 市民一人ひとりのために	R7目標	誰一人取り残すことのない施策の全庁的な展開の推進に努めるとともに、市民一人ひとりのニーズに耳を傾け、市民サービスの向上を目指し、業務の改善、新たな施策をたゆまず進めます。
		R6目標	同上
	(2) 常に目標・目的を問い続け	R7目標	市民一人ひとりのニーズに即した施策の実施にあたり、目標や目的の設定の妥当性までに遡り施策の進捗状況、目標達成状況を定期的に確認するとともに、状況に即した施策に修正し、より実効性の高い施策を展開します。
		R6目標	同上
	(3) 新しい手法・発想へのトライを続け	R7目標	行政手続きのオンライン化などの新しい手法を積極的に活用し、業務の効率化を図るとともに、市民にもそれらの手法の恩恵が得られるような施策の展開をめざします。また、業務量調査を継続して行うことで人員配置及び人件費の適正化を進めます。
		R6目標	業務システムの集約化、行政手続きのオンライン化などの新しい手法を積極的に活用し、業務の効率化を図るとともに、市民にもそれらの手法の恩恵が得られるような施策の展開を目指します。また、前年度に引き続き業務量調査を継続して行うことで人員配置及び人件費の適正化を進めます。
	(4) 心身共に健康で	R7目標	すべての職員が心身ともに健康で職務にあたれるような職場環境の整備に努めます。また、カスタマーハラスメント等への対策を講じます。
		R6目標	すべての職員が心身ともに健康で職務にあたれるような職場環境の整備に努めます。
	(5) 市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R7目標	総合的な施策の展開を図るため、全庁的な連携に努めます。また、市民サービス向上のため、ニーズの把握に努めます。さらに、所管事項に関連する団体との連携により施策の効果を最大限に高めます。
		R6目標	同上
	(6) コスト・成果にこだわる	R7目標	仙北市財政が市発足以来最大の危機的状況であることを認識し、早期に身の丈に合った財政規模への転換と歳入歳出のバランスを図ることに取組みます。
		R6目標	全庁的な財政健全化に向けて、予算の編成から執行まで、より効率的かつ効果的な施策の展開を目指します。

4. 6つの重要視すべき価値R6目標に対する総括	システムの集約化や行政手続きのオンライン化等の財源を必要とする施策の実施についてはスピード感に欠けるかもしれないが、電子申請やLINE配信、ノーコードツールの活用など行政サービスの向上や職員の負担軽減につながるところから着実に進めることができている。 令和7年度予算編成に向け緊縮財政の徹底を指示し明確な削減目標により編成作業を行った。特殊要素(庁舎整備や人勤による人件費増等)があり予算規模は膨らんだものの、前例踏襲的な予算は削減するなど全庁的な削減の意識は定着しつつあり、財政健全化に向けた取り組みがスタートした。
--------------------------	--

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課）	①人材確保 中長期計画を踏まえながら、地域の実情や行政需要の変化への対応や確保・育成が困難な人材の補完、組織の魅力を効果的に発信。 ②人材育成（人材育成方針の改定） 職員研修を通じた人材育成、人事評価を活用した職員の育成。職員アンケートの実施。チャレンジする人材確保。 ③職場環境の整備 育児・介護等と仕事との両立支援、組織や仕事に対する貢献意欲の向上。 ④女性活躍の推進 女性職員の多様なポストへの積極的配置。	①専門職員採用各年1人以上 ②職員研修者数 2019年度 84人 2022年度 53人 2023年度 123人 2024年度 341人 ③男性の育児休暇取得率 2019年度 20.0% 2022年度 14.3% 2023年度 20.0% 2025年度 100% ※各年度公表値 ④女性の管理職登用率 2019年度 11.4% 2024年度 21.0% 2025年度 20.0%以上
	人材マネジメントの推進（総務課）		
	○達成水準（KGI）		
	職員の能力を最大限に引き出し、発揮させ、職員の成長が組織力の向上につながるよう、人材育成の取り組みを総合的に進める。 【KGI】 「持続可能な行財政基盤の確立並びに行政サービスの充実」満足度（市民意識調査）2023：14.6%から満足度を上げる。		
	○関係計画等		
課題2	○施策名（関係する課）	本市における近年の予算編成は、ふるさと仙北応援基金や財政調整基金の取崩しに頼ったものとなっており、外的要素により致命的な影響を受けるおそれがある。その危機的状況を克服し、将来を見据えた持続可能な財政構造の確立のため、引き続き部局を超えて連携し、次の事業に取り組む。 ①施策評価（主担当：企画部） ②事務事業評価（主担当：企画部） ③補助金評価 【参考】財政調整基金残高の目安（標準財政規模の10%～20%） ※11億5,827万円～23億1,654万円 2022年度標準財政規模：115億8,273万8千円 ④業務量調査結果に基づく人員配置及び人件費の適正化（主担当：総務課） 総体的な業務時間の削減のため、時間外勤務の削減、年次有給休暇取得を推進する。 ⑤第5次定員適正化計画（R7～R11）の推進	①②③ 財政調整基金繰入額の縮小 0円 2023年度 7億6千万円 2024年度 2億9千万円 2025年度 3億7百万円 ④時間外勤務手当の1割削減 2023年度 96% 2024年度 86.3% 2025年度 90% ④全職員の年次有給休暇12日以上取得 2023年度 13.53日 2024年度 13.42日 2025年度 12.0日 ⑤策定中につき後述（4月中に策定見込み）
	持続可能な行財政基盤の確立並びに行政サービスの充実（財政課、総務課、企画部）		
	○達成水準（KGI）		
	持続可能な安定した財政運営を確保するため、歳出のスリム化を図り、臨時的な財源に依存しない財政構造を確立すること 【KGI】 経常収支比率の改善（対前年度対比▲2ポイント）、一定以上（標準財政規模の10%～20%）の財政調整基金現在高の確保		
	○関係計画等		
課題3	○施策名（関係する課）	近年多発している豪雨災害をはじめ、本市特有の火山災害など各種事案に対応するため、消防団員の確保、災害時の情報伝達手段の充実等、災害対応の充実を図ることが必要である。 ①減少傾向にある消防団員数を増やせるよう、募集活動を強化し、地域防災力の向上に努める。 ②新情報伝達システム（アットインフォカナル）で安全安心メール、LINEなどを最大限活用し、情報発信に努める。 ③各町内会等自主防災組織結成を推進し、災害時における自助・共助の意識啓発に努める。併せて既存団体へは、毎年の訓練実施や防災教室の開催を促すなど組織の活性化を図りながら、活動を継続していけるよう支援を継続する。	①新規団員勧誘活動を年2回以上実施、女性消防団員の勧誘強化 ①女性消防団員の活動を年5回以上実施 ②新情報伝達システム配信登録者数10,000人（R6.11月LINE登録者8,302人） ③大規模訓練を年5回実施 ③町内会防災学習を10回以上実施 ③街頭での防災啓発活動5回以上実施
	消防体制の充実・防災体制の強化（総合防災課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 消防団員数：現状維持（434名） 自主防災組織：37組織→40組織		
	○関係計画等		
	○関係計画等	・第2次仙北市総合計画 ・仙北市地域防災計画 ・仙北市国土強靱化地域計画	
	・第2次仙北市総合計画 ・仙北市地域防災計画 ・仙北市国土強靱化地域計画		

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題4	○施策名（関係する課）	固定資産税の適正課税のために、地方税法第408条に基づく実地調査を行う。 ①土地実地調査 ②土地登記簿照合 市内全域調査完了後は、5年間で全域を調査する等、定期的に調査を行っていく。 ③税負担の公平性や自主財源確保のため、滞納者に対し納付勧奨、財産調査及び適正な滞納処分を行う。	○目標調査件数 ①実地調査 2024年度 土地 34筆 2025年度 土地 58,500筆 2026年度 土地 58,500筆 ②登記簿照合 2024年度 土地 0筆 2025年度 土地 91,800筆 2026年度 土地 60,600筆 ○目標収納率 ③2024年度から2026年度は、2023年度目標収納率（普通税 96.1％）を目標値とする。
	課税の適正化及び公平な負担の実現（税務課、収納推進課、固定資産税調査室）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 ・固定資産税実地調査の推進 土地 約224,000筆 家屋 約 27,500棟 ・目標収納率の達成 普通税 96.1％		
	○関係計画等		
	・仙北市固定資産税（土地・家屋）実地調査計画		
課題5	○施策名（関係する課）	いつでも・どこでも・簡単に手続きが完結する行政サービスをめざし、次の事業を検討・着手を目指す。 ①仙北市DX推進計画（R4～R8）の見直し ・行政手続きのオンライン化 ・証明書コンビニ交付サービスの拡充 ・書かない窓口 ・交通弱者も利用可能な行政サービスのあり方（行政MaaS） ・統合型・公開型GISの導入 ・電子決済システムの導入	・オンライン化した手続きの数 50件 令和6年度実績23件 ・証明書5種類のコンビニ交付件数3371件 ・書かない窓口による証明書発行、交通弱者向けサービス実施、公開型GISの導入については検討継続。 電子決済システムは2025年度以降の導入を目指す。 ※仙北市DX推進計画（R4～R8）の見直しにあわせ、KPIの再設定を行う。
	行政手続きのDX 促進（総合情報センターおよび各課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】市民意識調査「持続可能な行財政基盤の確立並びに行政サービスの充実」の満足度 ※「満足」・「やや満足」の合計 ・現状（2023） 14.6％ ・現状（2024） 17.5％ ・目標（2025） 25.0％		
	○関係計画等		
	・仙北市DX推進計画		
課題6	○施策名（関係する課）	公共施設について長期的な視点から更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うこととて財政負担を軽減・平準化することが必要である。 ①市有財産や市有施設のうち、今後活用が見込めない施設は、除却・譲渡を推進する。 ②各公共施設等のマネジメントをより効果的に行うため、組織改編により公共施設等マネジメントの仕組みを構築し、施設の対策優先順位を定める。	①除却 8施設、譲渡 5施設（個別施設計画より） ②公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の見直しを2025年度末に完了
	公共施設等マネジメントの推進（管財課、公有財産所管課等）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】建築系公共施設の総延床面積を35％減（2016年度から2045年度までの30年間）		
	○関係計画等		
	・第2次仙北市総合計画 ・仙北市公共施設等総合管理計画		



2025年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

企画部	部(局)	記入年月日	令和 7 年 4 月 1 日	部(局)長名	齋藤 洋	記入者所属氏名	企画部 齋藤 洋
-----	------	-------	----------------	--------	------	---------	----------

1.部の役割・使命	企画部は、少子高齢化が進むふるさと仙北市を幸福度全国No.1のまちにするための旗振り役として、第2次仙北市総合計画等を着実に実行します。2025年度は、部の最優先事項に移住定住、若年層・女性の働く場の創出を据え、先進的な取り組みを積極的に取り入れます。また、昨年度に引き続き、柔軟且つ部局横断的な連携を図り、前例にとられない新たな視点での政策立案を行うとともに、徹底的に無駄を排除し、貪欲に”稼ぐ”市役所に変貌させ、喫緊の課題である財政健全化を実現します。	2.部の人的資源(人) 20250401 現在	正職員	13
			会計年度	9

3・6つの重要視すべき価値	(1) 市民一人ひとりのために	R7目標	持続的で内面に根ざした幸せ(well-beingウェルビーイング)を幸福と捉え、常に市民の声に耳を傾け、全ての市民が幸福度に満たされる仙北市を目指します。
		R6目標	同上
	(2) 常に目標・目的を問い続け	R7目標	第2次仙北市総合計画等に掲げた施策の実施にあたり、市民意識調査により市民ニーズを的確に把握するとともに、実態に見合った形に常に計画を見直します。
		R6目標	同上
	(3) 新しい手法・発想へのトライを続け	R7目標	前例に囚われず、常に広い視野で物事を捉え、新たなトライを繰り返します。
		R6目標	同上
	(4) 心身共に健康で	R7目標	職員も一市民であり、明るく風通しのよい職場づくりにより、プライベートでの充足感を得られるワークライフバランスに配慮します。
		R6目標	同上
	(5) 市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R7目標	庁内連携を強化し、総合的に施策を進めます。また、関係団体との連携を密にし、常に最新の情報を得て事業効果を最大限に高めます。
		R6目標	同上
	(6) コスト・成果にこだわる	R7目標	R6年度に断行した行財政改革を継続し、その成果を市民の福祉向上などに還元します。
		R6目標	行財政改革を強力に進め、財政健全化を必ずや実現します。常に結果にこだわり、結果がでない場合はその原因を探るとともに手法を見直します。

4. 6つの重要視すべき価値R6目標に対する総括	幸福度(7~10)の高い市民の割合が45.6%(前年比6.8ポイント増)に上昇した。市民幸福度に影響を与えた施策を分析し、令和7年度施策に生かす。また、45.0%以上としていたKGIを達成したことから、目標を上方修正する。 財政健全化に向けた庁内の意識改革は進んだが、依然としてふるさと納税頼みの財政構造からの脱却には至っていない。引き続き、庁内を挙げて取り組まなければならない。
--------------------------	---

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課）	※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	ABCDEF)秋田県移住定住登録に登録した移住者数 15人／年 2023年度:10人 2024年度:8人※R7.2末現在 2025年度:15人
	・移住定住の促進（まちづくり課） ・多様な生活スタイルへの対応、近未来技術実証・実装の推進（企画政策課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 《メイン》 2025年生産年齢人口 10,002人以上 （仙北市人口ビジョン別冊（2023年度作成）より）		
	《サブ》 2025年社会増減数 -324人以内 （仙北市人口ビジョン別冊（2023年度作成）より）		
課題2	○関係計画等	A 移住おもてなし事業（移住体験ハウス、移住ワンストップセンター、地域おこし協力隊員制度の活用） B 移住者へのきめ細かな対応（雪かき体験、定着のための助成など） C 空き家対策（空き家ワンストップセンター、発生抑制、条例及び法に基づく対応強化） D 定住促進奨励金・就業者等移住支援金 E 結婚新生活支援事業補助金 F 地域みらい留学（角館高校:2026年度入学から）導入準備	F)新型モビリティ等の導入検討による既存路線の見直し 1路線以上／年 2023年度:1路線（たざわおたのしみ号） 2024年度:1路線（中川地区「よぶのる角館」編入） 2025年度:1路線以上
	・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第2期仙北市SDGs未来都市計画		
課題2	○施策名（関係する課）	①喫緊の課題である財政健全化に向けて、2023年度に設置した仙北市財政健全化庁内検討委員会により、歳入の増加（”稼ぐ”市役所）、歳出の削減、施設管理や事務事業の見直しなどを最優先で進める。あらゆる方向から検討を進め、仙北市政調整会議での議論を経て施策を立案して予算化に結びつける。 2023年度にスタートさせた法定外目的税（宿泊税等）・普通税（空き家税等）などの検討を加速化させるほか、現在、進めている庁舎機能の移転・集約を完了する。 A 法定外目的税等（宿泊税など）の導入 B 庁舎機能の再々編（総務部との連携により実施）	A)法定外目的税等の導入を目指した市民レベルの研究会の開催回数 2回以上／年 ※数年以内の導入を目指す 2023年度:庁内検討会2回開催 2024年度:庁内検討会2回開催 2025年度:2回以上
	持続可能な行財政基盤の確立並びに行政サービスの充実（企画政策課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 ・市民意識調査 幸福度高（7～10）の割合 50.0%以上 2023年度:38.8% 2024年度:45.6% ・財政調整基金繰入額 0円		
	○関係計画等		
課題2	・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第2期仙北市SDGs未来都市計画 ・仙北市行財政改革に係る事業・施策評価 実施要領及び同評価要領 ・仙北市財政健全化庁内検討委員会設置要綱	②メルカリshopsの活用によるSDGsへの取り組み姿勢をアピールし、ふるさと納税（個人版・企業版）のさらなる増加に取り組む。2025年度は特に企業版ふるさと納税の増加に取り組む。 C 個人版ふるさと納税 D 企業版ふるさと納税	B)合併特例債の発行期限である2025年度末までに移転・集約を完了予定。 C)個人版ふるさと納税 東北トップ6入り 27億円以上／年 ◆2023年度東北ランキング 1位 気仙沼市95億（全国12位） 2位 花巻市 91億（ 〃 13位） 3位 角田市 40億（ 〃 45位） 4位 山形市 39億（ 〃 47位） 5位 天童市 36億（ 〃 51位） 6位 寒河江市33億（ 〃 57位） 8位 仙北市 26億（ 〃 77位） 2024年度:仙北市 38.6億円 2025年度:27億円以上
課題2		③財政調整基金の枯渇、ふるさと納税頼みの予算編成など危機的な状況にある財政状況からの脱却を目指す。総務部と連携を図りながら、事業評価制度の確立、身の丈にあった財政規模への転換、市民との対話重視、若手職員の育成を柱に行財政改革を行う。 E 事務事業評価 F 施策評価	D)企業版ふるさと納税 寄付件数5件以上／年 2023年度:4件、270万円 2024年度:3件、130万円 2025年度:5件以上
課題2		④国交付金の活用により、積極的に先進施策に取り組む。人手不足の解消、雇用創出を目指し、2024年11月に開設した「仙北市外国人雇用・創業ワンストップセンター」を核に市内経済の活性化に取り組む。 G 国交付金を活用した新規事業の提案	EF)翌年度予算に確実に反映する進行管理を行うこと G)国等交付金の採択数 2件／年（2023年度までの累計8件） 2023年度:1件 2024年度:3件 2025年度:2件

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題3	○施策名（関係する課）	①仙北市地域公共交通計画において定めた地区別年次計画に基づき、下記の事業を行う。また、全地区において公共交通座談会を開催し、市民・利用者の声を施策に反映させる。また、「よぶのる角館」の運行形態を一部見直し、公共ライドシェアの導入検討を加速化させる。 A 既存公共交通の見直し（市民バス・デマンド型タクシー等、ライドシェア導入検討） B 民間バス路線の廃止に伴って生じた不便さの解消 C JR東日本と4年目以降の協定を締結した「よぶのる角館」安定運行 D 補助スキームを見直した内陸線への支援継続	A)見直し地区数 1件／年 2023年度：1件（たざわおたのしみ号） 2024年度：1路線（中川地区「よぶのる角館」編入） 2025年度：1件 B)公共交通座談会などによる市民との対話 9箇所／年 2023年度：9箇所で実施 2024年度：9箇所で実施 2025年度：9箇所 C)よぶのる角館利用者数 前年度以上（2022年度利用者数6,286人） 2023年度：10,004人 2024年度：12,348人 2025年度：12,348人以上 D)赤字補填額 2.00億円以内／年（県・北秋田市等との合計） 2023年度：2.00億円 2024年度：1.95億円 2025年度：1.65億円 2026年度：1.65億円 2027年度：1.48億円
	公共交通機関の維持と利便性の向上（まちづくり課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 ・「公共交通機関の維持と利便性の向上」2025年度：30%以上 2023年度：15.7% 2024年度：21.2% ・行きたいときに行きたい場所へ行けている人の割合60%以上 2024年度：55.4%		
	○関係計画等		
	・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第2期仙北市SDGs未来都市計画 ・仙北市地域公共交通計画		
課題4	○施策名（関係する課）	①女性が働きやすく、活躍できる環境づくりを進めるため、女性の声を市政に取り入れ、支援するとともに男女共同参画社会の形成を積極的に図る。特に若い女性の転出超過を改善するため、子育て部門との連携を強化する。 また、民間団体が実施する「おしごと体験KIDS MARCHE（キッズマルシェ）」を引き続きバックアップする。 A 男女共同参画推進委員会、女性活躍推進協議会の開催 B 女性の声を市政に反映（女性向けLINEアンケートの実施） C 市政等への女性参画率向上 D 子育てに理解のある職場環境整備 E 結婚を望む方への積極的支援	A)男女共同参画社会という用語を知っている人の割合 100.0 % 2023年度：69.6% 2024年度：68.5% 2025年度：100.0% B)アンケート実施回数 1回／年 2023年度：未実施 ※令和7年4月実施予定 2025年度：1回 C)市審議会等委員女性の選任率 30.0% 2023年度：20.9% 2024年度：18.2% 2025年度：30.0% D)在職市管理職のイクボス宣言率 100.0% 2023年度：39.8% 2024年度：61.9% 2025年度：100.0% E)結婚支援センターに入会した人の成婚率10.6%以上（成婚数17組／入会者累計158人※2023までの累計） 2023年度：10.7% 2024年度：11.4% 成婚数19組／入会者累計166人 2025年度：10.6%以上 F)地域運営体あり方検討会の開催 1回以上／年 2023年度：1回 2024年度：1回 2025年度：1回 G)地域おこし協力隊 採用1名／年 2023年度：1人 2024年度：0人 2025年度：1人 ※2025年度2名採用予定 H)姉妹都市等を訪問した市民数30人／年 2023年度：0人※交流事業なし 2024年度：87人 2025年度：30人
	・男女共同参画社会の実現 ・地域活性化関連事業（いずれもまちづくり課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 《メイン1》 「男女共同参画社会の実現・地域活性化関連事業」 満足度25.0%以上 2023年度 満足・やや満足16.1% 2024年度 満足・やや満足22.7%		
	○関係計画等		
	・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第2期仙北市SDGs未来都市計画 ・仙北市第4次男女共同参画計画		
		②少子高齢化が顕著で人口減少に歯止めがかからず、地域コミュニティの維持に大きな影響を与えている。平成22年に始まった地域運営体事業は役員の高齢化などの課題を抱えているが、地域の拠り所として市民が将来にわたり安心して暮らせるよう維持していく。また、地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、多方面から地域コミュニティへの参画を促すとともに新たな”気づき”による地域活性化を図る。2025年度は移住定住分野の地域おこし協力隊を2名採用する。 F 地域運営体の維持 G 地域おこし協力隊制度の積極的な活用	
		③戊辰戦争時に角館の町並みを守った「濱田謹吾少年」に由来する長崎県大村市・吾往会との交流、佐竹氏の繋がりを由来とする秋田市、茨城県常陸太田市との3市連携交流を中心に国内交流を市民レベルで活性化を図る。 H 積極的な国内交流の推進	



2025年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

市民福祉部	部(局)	記入年月日	令和 7 年 4 月 1 日	部(局)長名	草薨 秀典	記入者所属氏名	市民福祉部 草薨 秀典
-------	------	-------	----------------	--------	-------	---------	-------------

1.部の役割・使命	市民福祉部の使命は、市民の生活・健康を守り支えていくこととなります。 少子高齢化の様々な課題に対応し、健康寿命の延伸と子育て支援の充実を図るための各種施策を通じて幸福度の向上に貢献していきます。 市民が住み慣れた場所で、自分の居場所を持ち、健康で生きがいを感じられる、人と人がつながる共生のまちづくりを進めます。 国や秋田県の制度変更に臨機応変に素早く対応し、市民の幸福度の向上に貢献していきます。	2.部の人的 資源(人) 20250401 現在	正職員	153
			会計年度	103

3・6つの重要視すべき価値	(1) 市民一人ひとりのために	R7目標	ライフステージやイベントに合わせ、サービスが必要な方について誰一人取り残さずサービス提供ができるよう配慮し、一人ひとりに丁寧に接します。
		R6目標	同上
	(2) 常に目標・目的を問い続け	R7目標	業務の目標・目的を常に意識し、変化する制度の影響については、その趣旨に則っているのかの見直しを行います。
		R6目標	同上
	(3) 新しい手法・発想へのトライを続け	R7目標	DXをはじめ、所管するシステムや基幹システムの標準化・オンライン化を進め、それを活用できる体制を整えて、利用者の利便性向上や職員の事務作業軽減を図ります。
		R6目標	同上
	(4) 心身共に健康で	R7目標	常にコミュニケーションをとることに努め、職員相互に変化への気づきができる働きやすい職場環境を作ります。
		R6目標	同上
	(5) 市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R7目標	重層的な支援体制ができるように、それぞれの役割と責務に基づき対等な立場で協力し相互に補完し合って連携していきます。
		R6目標	同上
	(6) コスト・成果にこだわる	R7目標	市民の生活と健康の維持への影響とコストの妥当性を常に意識して事業を行い、幸福度の向上を目指します。
		R6目標	同上

4. 6つの重要視すべき価値R6目標に対する総括	概ね順調に事業遂行しているが、次の検討課題の検討が必要となっている。 1, 病児病後児の施設設置見直し。 2, 医療Maasにおけるより深い病院事業との連携。 3, 出生率低下に対する市全体での対応
--------------------------	--

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題1	○施策名（関係する課）	①全ての市民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、赤ちゃんから高齢者までの健康対策を立てることで自分らしく健やかに健康寿命を延伸する健康づくりに取り組む。特定健診受診率については、個別医療機関健診での受診者数も増加しているが、2020年度から始まった医療機関受診結果により健診を受けたとみなす診療情報提供数が増えていないため、医療機関へ制度の周知や協力依頼を引き続き行う。 A 健康増進事業 B 予防事業 C 大腸がん予防事業 ②健康ポイント事業は昨年度の評価に基づき目標値500人を200人に修正し、広報やHPの活用及び景品の見直し等を行った結果、2023実績値は昨年度同であったが、目標値未達のため引き続き、手法を検討する。 D 健康ポイント事業 ③こころの健康については、ゲートキーパー養成講座受講者数を新たなKPIとして設定し、年間100人を目標値としたところ、2023年度は114人の受講があったので継続した取り組みを行う。 E 心の健康づくり・自殺予防対策事業	各種事業による支援及び健康づくりへの意識向上は、総合計画に記載している健康寿命延伸に大きく寄与するものであり、市民の幸福度や医療費、人口減少に直結することから、今後さらに注力すべきと考える。 2025年度目標 ①特定健診受診率42% （2023－40%） （2024－実績未確定） ②健康ポイント事業参加者200人 （2023－159人） （2024－実績未確定） ③ゲートキーパー養成講座受講者数（心の健康づくり・自殺予防対策事業）100人 （2023－114人） （2024－実績未確定）
	保健活動・健康づくりの推進（保健課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 仙北市民意識調査満足度（満足） ・生涯を通じた健康づくりの推進 2023:12.6%→2025:14.0% 自殺率0%を目指します。		
	○関係計画等 ・けんこう仙北21計画 ・仙北市民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画） ・仙北市民自殺対策計画		
5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題2	○施策名（関係する課）	①農山村地域に居住する高齢者等の交通弱者については、医療機関への通院手段も限られており、不定期受診や不適切な服薬が問題となっていることから、これらを解消し、地域で安心して生活できる医療MaaS環境を整備提供する。（市民への周知を、より充実するよう図り、利用回数を伸ばす。） A 医療MaaS管理運営事業 ②健康に関するデータを一元管理のうえ、可視化させることで市民の健康意識を喚起し、健診受診率を向上させるとともに、日々の食生活や運動習慣に対してもPHRアプリで介入することで生活習慣病の予防を図る。これらのセルフケアによる健康の維持・増進を通じて市民の健康寿命延伸へと繋げる。（2023は、R6.2月3月2ヶ月の実績。令和6年度は順調に登録件数は伸びている。） B PHR管理運営事業（DX） 介護老人保健施設「にしき園」では、パワーアシストスーツや自立推進トレーニングロボット等DX機器を導入し、介護作業の効率アップ、作業負担の軽減、疲労低減を図っている。 ※医療MaaS：MaaSは「Mobility as a Service（モビリティ・アズ・ア・サービス）」の略称で「サービスとしての移動」という意味。医療機器搭載の車両を導入し、マイナンバーカードを活用した交通弱者等向けの遠隔医療や健診に活用するもの ※PHR：「Personal Health Record（パーソナル・ヘルス・レコード）」の略称で、生涯にわたって保持する電子カルテ（生涯型電子カルテ）のことで、マイナポータルに紐付けられた個々の健康・医療・介護などの医療情報・データを一元的に記録・管理するソフトウェア ※パワーアシストスーツ：電動アクチュエーターなどを人体に装着することで、人間の動きをサポートする装置のこと	2025年度目標 ①医療MaaSによる交通弱者等向けサービス利用回数100回 （2023-3回） （2024－実績未確定） ②PHRによる伴走型生涯健康ダイアリーサービス利用件数 300件 （2023-39件） （2024－実績未確定）
	医療体制の充実（保健課）		
	○達成水準（KGI）		
	医療Maas事業とPHRを利用する市民の満足度を向上させる。		
	○関係計画等		
	—		

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題3	○施策名（関係する課） 子育て支援保育の充実 （こども家庭センター）	家族形態の変化、就労の多様化、保育ニーズの多様化、地域コミュニティ意識の希薄化が進む中で、保護者が子育てに不安や孤立感を感じることがないよう、相談援助体制の充実を図るために、仙北市こども計画に基づき、下記の事業を行う。 ①子どもが心身ともに健やかに育つとともに、保護者が安心して仕事と育児・家庭の両立ができるよう、認定こども園等の施設による教育・保育の推進すると共に、待機児童減少を目指して乳児（0歳児）特化保育の充実を進めます。 A 放課後児童対策事業 B 認可保育園等管理費・運営費 C 教育・保育施設給付費 D 社会福祉法人はなさき仙北補助金 ②各種子ども・子育て支援事業の充実を図るために、母子保健機能と児童福祉機能双方を一体的に運営する「こども家庭センター」を開設。 E 子育て支援拠点事業 F 母子保健対策事業 ③子育て家庭の経済的安定を図るため、児童手当、育児支援金、出産・子育て応援ギフト等の給付や保育料助成、乳幼児等の医療費助成、多子世帯へのファミリーサポート券配布など、適切かつ効果的に実施 G 子育てファミリー支援事業費 H 在宅子育てサポート事業 I すこやか子育て保育料助成事業 J 育児支援金給付事業 K 保育園入所待機児童等支援事業（補助金） ④未満児（0～2歳児）の保育料全額助成による無料化と主食（米）の無償提供を行うことで、より一層の子育て家庭の経済的安定を図る。 I すこやか子育て保育料助成事業 B 認可保育園等管理費・運営費 D 社会福祉法人はなさき仙北補助金	2025年度目標 ①～④出生数 75人 （2023-76人） （2024-実績未確定） ①・③待機児童 0人 （2023-8人） （2024-実績未確定）
	○達成水準（KGI） 出生率の向上を目指すとともに第2子をもうけやすい環境の構築を目指す。		
	【KGI】 仙北市市民意識調査満足度（満足） ・子育て支援保育の充実 2023:3.6%→2025:5.0%		
	○関係計画等 ・仙北市こども計画		
課題4	○施策名（関係する課） 低所得者福祉の充実 （社会福祉課）	①生活困窮者自立支援及び生活保護は市民にとっては最後の砦（セーフティネット）であり、市民の幸福度の向上のためには必要不可欠な施策である。相談支援業務では民生委員や社会福祉協議会等とも連携を図り、支援が必要でもなかなか声を上げられない方々の拾い上げや、相談しやすい環境を整え親身になり市民に寄り添った相談支援体制を整える。また、一定の収入があり非課税の対象とはならないことにより、給付金などの対象となりにくい、いわゆる中間層の方々からの相談に対しても、各種減免制度や貸付け等といった他法他施策の助言を行い支援していきたい。複雑かつ高度化してきた相談内容に対応できるべく、各種研修の参加や現任訓練による職員の知識向上も図っていく。 A 生活困窮者自立相談支援事業 B 生活保護事業	2025年度目標 A) ・生活困窮者自立相談件数40件 （2023-47件） （2024-実績未確定） ・生活困窮者自立相談支援事業による就労支援2件 （2023-1件） （2024-実績未確定） B) ・生活保護受給世帯数250件 （2023-262件） （2024-実績未確定） ・生活保護受給者廃止数（引き取り・収入増加による）2件 （2023-2件） （2024-実績未確定）
	○達成水準（KGI） 【KGI】 生活困窮及び自立支援への相談に対する解決割合100%を目指す。		
	○関係計画等 ・仙北市地域福祉計画		
課題5	○施策名（関係する課） 高齢者福祉の充実 （長寿支援課、包括支援センター）	①仙北市では高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しているため、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための介護予防や自立支援・生活支援の施策は必要と考える。また、高齢者の自立した生活維持のため、無理なく介護予防やフレイル（虚弱）予防を行う事は健康寿命延伸に一定の効果があるため、LINE・広報・民生委員・チラシ・地域の集いの場等を通して、多方面より事業内容の周知を図り、市民一人ひとりの健康意識を向上させ、今後も地域住民、ボランティア団体、行政等による連携強化を行い地域共生社会の実現を目指す。 A 緊急通報装置給付・貸付事業 B 高齢者難聴者補聴器購入費助成事業 C 高齢者共同生活（相互援助ホーム）支援事業 D 予防ケアプラン作成事業 E 高齢者世帯等除雪支援事業 F 介護タクシー利用助成事業 G 介護予防・日常生活支援総合事業	2025年度目標 A)緊急通報装置設置台数 38台 （2023-32台） （2024-実績未確定） B)高齢者難聴者補聴器購入費助成（定数@30,000×20人） C)高齢者共同生活（相互援助ホーム）支援事業（定員8名） DG)介護予防・生活支援サービス利用者数 8人 （2023-2人） （2024-実績未確定） E)天候に左右されるため適切に対応 F)介護タクシー利用件数 30件 （2023-27件） （2024-実績未確定） G)介護予防教室利用者数 160人 （2023-143人） （2024-実績未確定）
	○達成水準（KGI） 【KGI】 仙北市市民意識調査満足度（満足） ・高齢者福祉の充実 2023:4.7%→2025:6.0%		
	○関係計画等 ・仙北市高齢者福祉計画		

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題6	○施策名（関係する課）	①介護者の高齢化に伴い、障がい者が在宅で暮らすことが困難になるケースが増えてきており、在宅によるサービスの更なる充実が求められている。障がい者（児）タクシー利用券においては、利便性向上のためデマンドタクシーを利用対象とするように、人工透析通院費は昨今の物価上昇に合わせて支給額単価の増額を検討していく。相談支援事業所が1箇所しかなく、選択肢がないのが課題であるため、積極的に開拓を検討する。今後とも、障がいがある方の生活に沿ったサービスを提供できるよう、関係機関との連携強化を行っていく。また、重層的支援に向けた体制構築を目指す。 A 特別障害者手当等支給事業 B 地域生活支援事業 C 障害者自立支援給付事業 D 障がい者（児）タクシー利用券給付事業 E 人工透析通院費支給事業 F 仙北市権利擁護センター事業	2025年度目標 A)特別障害者手当等支給者数（固定数） B)相談支援事業所数 2箇所（2023－1箇所）（2024－実績未確定） C)障害者自立支援給付者数（固定数） D)障がい者（児）タクシー利用券受給者数 210人（2023－164人）（2024－実績未確定） E)人工透析通院費受給者数 40人（2023－36人）（2024－実績未確定） F)権利擁護相談件数 73件（2023－54件）（2024－実績未確定）
	障がい者（児）福祉の充実（社会福祉課、包括支援センター）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 障がい者（児）支援制度の利用者満足度100%を目指す。		
	○関係計画等		
	・仙北市障がい者計画 ・障がい福祉計画 ・障がい児福祉計画		
課題7	○施策名（関係する課）	①沢山の事を一人で抱え込みがちな「ひとり親家庭」の暮らし難さを軽減し、親子が安心して安全な生活を送ることに繋げるため、面談等で子どもの成長や家庭状況の変化を把握し、必要な時期に必要な支援や制度・手続きの紹介などを行っていく。 A ひとり親家庭福祉事業 B 児童扶養手当給付費 C ひとり親家庭日常生活支援事業 D 母子生活支援施設等入所措置費負担金	2025年度目標 A)・母子父子寡婦福祉資金貸付 制度 1件（2023－0件）（2024－実績未確定） ・母子家庭等自立支援給付金事業（教育訓練・高等職業訓練） 1件（2023－0件）（2024－実績未確定） B)児童扶養手当の給付 200世帯（2023－186世帯）（2024－実績未確定） C)ひとり親家庭等日常生活支援事業 1件（2023－0件）（2024－実績未確定） D)母子生活支援施設入所支援 1件（2023－1件）（2024－実績未確定）
	母子（父子）福祉の充実（こども家庭センター）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 子育て支援保育・低所得者福祉・ひとり親福祉の満足度100%を目指す。		
	○関係計画等		
	—		
課題8	○施策名（関係する課）	①被保険者が健やかに暮らすため、疾病の早期発見、早期治療並びに健康への意識向上を図る事業の実施は重要であるが、人間ドック助成や、特定健康診査や特定保健指導だけでは、医療費抑制への効果が表れるまでは時間を要する。その為、被保険者の高齢化に伴う医療費の増加を抑制することは困難であるが、その増加の幅を小さくするための事業を実施することで、健康への意識を高めていく。 A 後期高齢者医療短期人間ドック助成費 2024年度 1,050千円 B 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費 2024年度 4,281千円 C 後期高齢者健康診査等事業費 2024年度 9,717千円 D 特定健康診査等事業費 2024年度 15,638千円 E PHR管理運営事業費 2024年度 10,001千円 F 人間ドック助成費 2024年度 4,200千円	2025年度目標 A)後期高齢者医療短期人間ドック助成数 55人 B)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業訪問者 127人 C)後期高齢者健康診査数 1,200件 D)特定健康診査数 1,730件 E)PHR管理運営事業 300件（2023-39件）（2024－実績未確定） F)人間ドック助成数 200件
	社会保障制度（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業）の充実（国保市民課、保健課、包括支援センター）		
	○達成水準（KGI）		
	社会保障制度（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険事業）を充実することで、被保険者一人当たりの医療費を減少させる。		
	【KGI】 被保険者一人当たりの医療費399,572円（2022－438,914円）		
	○関係計画等		
	・秋田県国民健康保険運営方針 ・仙北市国民健康保険保健事業計画 ・秋田県後期高齢者医療広域連合からの委託事業		
課題9	○施策名（関係する課）	①不法投棄について、発見・回収件数が横ばいとなっている。過去に捨てられ新たに発見された物もあり、原因者の特定が困難である。また、見つかった投棄物の回収については進んでいるが、新たな投棄行為の抑止・防止ができていない状況となっている。しかし、本市は県内有数の観光地である。来られた方々が気持ちよく観光できるよう、ごみのポイ捨てや不法投棄を防がなければならない。市民はもちろんのこと、観光に来られる方や往来する方々の廃棄物処理・環境問題に関心を持ってもらうよう、様々な啓発活動により意識の向上を図る。 A 不法投棄監視費 ※ゴミの処理については、大曲仙北広域市町村圏組合において広域的に行われている。 ・廃棄物減量化対策費 ・塵芥処理費	2025年度目標 A) ・クリーンアップ回数 3回（2023－3件）（2024－実績未確定） ・ポイ捨てごみ回収 0kg（2023－10kg）（2024－実績未確定） ・不法投棄回収件数 6件（2023－11件）（2024－実績未確定） ・不法投棄監視員 3人（2023－1人）（2024－実績未確定）
	廃棄物対策と快適な生活環境の維持（生活環境課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 仙北市市民意識調査満足度（満足） ・廃棄物対策と快適な生活環境の維持2023:4.7%→2025:6.0%		
	○関係計画等		
	・仙北市一般廃棄物処理基本計画		



2025年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

観光文化スポーツ部	部(局)	記入年月日	令和 7 年 4 月 1 日	部(局)長名	田口 聡美	記入者所属氏名	次長兼観光課長 高倉 正人 交流デザイン課長 伊藤 カオリ 文化財課長 加賀谷 義丸 スポーツ振興課長 藤原 正輝
-----------	------	-------	----------------	--------	-------	---------	--

1.部の役割・使命	豊富な地域資源（農村の営み、自然や温泉、歴史と伝統）を活用した観光産業の振興、歴史的文化遺産の保存・継承と活用、スポーツによる健康づくりの促進などにより、交流人口、宿泊者数、観光消費額増、市の活性化を図ります。そして、「仕事などやりたいことがあるまち」、「日々の暮らして生きがいを感じてくれるまち」づくりを進め「全国幸福度No.1」を目指します。	2.部の人的資源(人)	正職員	32
		20250401現在	会計年度	22

3・6つの重要視すべき価値	(1) 市民一人ひとりのために	R7目標	事業を進める上で、市民ニーズを的確に把握し、市民生活の向上につながることを目指します。
		R6目標	同上。
	(2) 常に目標・目的を問い続け	R7目標	これまでの取り組みを点検し、変化する社会を見据えた目的の修正、新たな目標の検討を行います。
		R6目標	同上
	(3) 新しい手法・発想へのトライを続け	R7目標	情報収集に努め、DXなどの新たな手法を検討し、新たな情報発信、業務効率化などを行います。
		R6目標	同上
	(4) 心身共に健康で	R7目標	部職員の業務量、心身の状況に配慮し、働きやすい職場環境をつくれます。
		R6目標	同上
	(5) 市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R7目標	目標達成に向け、庁内各部署、市民、関係団体、企業等と積極的に連携します。
		R6目標	同上
	(6) コスト・成果にこだわる	R7目標	事業の費用対効果、成果検証、スクラップ&ビルドを意識し、限られた予算で目標とする成果を出すように努めます。また、R6年度と同様にクラウドファンディングや外部資金の獲得に努めます。
		R6目標	事業の費用対効果、成果検証、スクラップ&ビルドを意識し、限られた予算で目標とする成果を出すように努めます。

4. 6つの重要視すべき価値R6目標に対する総括	2事業についてガバメントクラウドファンディングを実施し、2件とも目標額を上回る寄付（合計で目標の171%）を獲得し一般財源予算を縮小させた。また、積極的に部局内で課を横断して情報共有し、連携して事業を実施することに努め、業務の効率化、変化する社会を見据えた目的の修正、新たな目標の検討を実施することが出来ている。事業実施がどのように市民の生活の向上に繋がっているかという意識づけはさらに必要である。
--------------------------	---

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題1	○施策名（関係する課） 安心して安全を基軸とした観光誘客態勢の整備（観光課）	コロナ前まで450～500万人で推移していた観光入込客数は、2024実績で390万人となり、同様に宿泊者数も50万人に対し48万人となり、まずはコロナ前までの水準にもどすための取り組みの継続が必要。 ①観光施設の維持管理・改修を実施し、安全・安心の観光地づくりに努めるとともに、効果的な観光地プロモーションを実施する。 A 観光施設整備事業費・観光施設維持管理費 B 観光宣伝費 ②各種イベントの開催を支援し、観光誘客増加を目指す。 E 角館祭りのやま行事実行委員会補助金 F 上桧木内の紙風船上げ事業 G たざわ湖龍神まつり開催費補助金 H 田沢湖高原雪まつり開催費補助金 I 抱返り紅葉祭開催費補助金 J 刺巻ミズバショウ祭り補助金	A～J) ・観光入込客数 国内・日帰り 2023実績:356万人 2024実績:390万人 2025目標:450万人 国内・宿泊 2023実績:46万人 2024実績:48万人 2025目標:50万人 国外・宿泊 2023実績:2.5万人 2024実績:4.3万人 2025目標:4.9万人 ・リピーター率 2023実績:20.9% 2024実績:未確定 2025目標:28% A) ・施設修繕件数 2023実績:5件 2024実績:4件 2025目標:10件
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 観光客満足度（観光協会来訪者アンケート） 2020:42.6%→2022:43.6%→2025:45.8%		
	○関係計画等		
	・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次観光振興計画		
課題2	○施策名（関係する課） 質の高い観光地形成（観光課）	①令和5年度に策定した第3次観光振興計画に基づき、質の高い観光地としての高付加価値化を進め、一人あたりの観光消費額を高めることで、稼げる観光地化を目指す。 A 観光施設維持管理費（Wi-Fiサービス提供） B ミズバショウ群生地木道整備（県補助100%） C JR、観光協会、仙北市の3者連携による取組 D 秋田駒ヶ岳登山利用適正化協議会負担金 ②地域DMOである観光協会との連携により、質の高い観光地形成を目指す。 E 田沢湖・角館観光協会補助金	A～F) ・観光消費額 国内 2023実績:247億円 2024実績:未確定 2025目標:312億円 国外 2023実績:6.4億円 2024実績:未確定 2025目標:10.3億円 ・観光事業従事者の満足度・幸福度向上 2023実績:5.7点 2024実績:未確定 2025目標:5.8点 ・観光関連要素別満足度 2023実績:33.03% 2024実績:未確定 2025目標:37.4%
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 第3次観光振興計画 観光による市民幸福度（市民意識調査） 2023:17.2%→2025:18%		
	○関係計画等		
	・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次観光振興計画		
課題3	○施策名（関係する課） 質の高い観光地形成（交流デザイン課）	①豊富な地域資源を活用した体験型観光の通年展開、関係人口の増加を意識した都市農村交流、国際交流の新たな形の検討、全国的に高レベルで100人単位のインバウンドグリーンツーリズムの実践者と言われる質と受け入れ軒数を確保していくための事業を実施する。また、姉妹校、姉妹湖、温泉やマラソン連携協定を通して多くの市民に海外や市内での国際事業に参加してもらうことで、国際交流を国際的な視野を持った青少年の育成と高齢者でも参画可能な事業として位置づけ市民全体の幸福度向上にもつなげていく。また、農林水産省の農泊インバウンド受入促進重点地域に選定されている（一社）農山村体験推進協議会と連携し、体験プログラムの商品造成や国内教育旅行の受け入れ、田沢湖周辺の環境を活かしたイベント等への支援に力を入れていく。 A グリーンツーリズム推進事業 B （一社）農山村体験推進協議会 C 教育旅行支援事業 D 台湾教育旅行誘致事業 E 青少年交流推進事業 F 国際交流推進事業	ABC)教育旅行受入人数 2023実績:1.6万人 2024実績:1.5万人 2025目標:1.5万人 DEF)訪日外国人宿泊者数 2023実績:2.5万人 2024実績:4.3万人 2025目標:4.9万人
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 第3次観光振興計画 《メイン》観光による市民幸福度（市民意識調査） 2023:17.2%→2025:18.0% 《サブ》観光客満足度（観光協会来訪者アンケート） 2020:42.6%→2022:43.6%→2025:45.8%		
	○関係計画等		
	・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次観光振興計画		

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題4	○施策名（関係する課）	①リトリートの推進については地域おこし協力隊の任務としての活動と事業を関連付けながら交流人口の拡大、本地域への訪問動機づけ、特色ある観光の推進事業として実施していく。また体験プログラムの商品造成や国内教育旅行の受け入れ、田沢湖周辺の環境を活かしたイベント等へを支援すると共に伝統的建造物群、国立公園、県立自然公園等については保存活動を行いながら活用をすすめ観光を目的としない来訪者の獲得にも取り組む。 A グリーンツーリズム推進事業 B （一社）農山村体験推進協議会補助金3 C 教育旅行支援事業 D 秋田アウトドアベース田沢湖地域活性化事業 E リトリート推進事業 ②仙北市への海外からの来訪者を増やすため、現地でのPR等、積極的な宣伝活動を行うとともに、台湾での商談会や学校訪問を行い、教育旅行の誘致を行う。ジャパンハウスは外務省が世界3都市に展開している観光、商業の拠点だが、2023年には樺細工の取り扱いが始まるなど本事業の成果が出てきている。引続き観光誘客の展開も視野に入れて事業を展開していく。 F 国際観光宣伝推進事業 G 台湾教育旅行誘致事業 H ジャパンハウスを活用した宣伝誘客事業	ABC)教育旅行受入人数 2023実績：1.6万人 2024実績：1.5万人 2025目標：1.5万人 DE)観光消費額 国内 2023実績：247億円 2024実績：未確定 2025目標：312億円 国外 2023実績：6.4億円 2024実績：未確定 2025目標：10.3億円 FGH)訪日外国人宿泊者数 2023実績：2.5万人 2024実績：4.3万人 2025目標：4.9万人
	交流人口の拡大と特色ある観光（交流デザイン課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 ・観光客満足度（観光協会来訪者アンケート） 2020:42.6%→2022:43.6%→2025:45.8% ・「（インバウンド等の）交流人口の拡大と特色ある観光」満足度（市民意識調査） 2023:46.9%→2025:60%		
	○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・第3次観光振興計画		
課題5	○施策名（関係する課）	①文化財保護行政の最重要課題は、少子高齢化が進み所有者が個人で文化財を存続させていくことが難しい現状となっていることである。国・県・市の文化財を存続させていくための施策として、マスタープランとなる「文化財保存活用地域計画」を策定し、地域総がかりで文化財を守り、他部署との連携した事業を行うなどで活かし、広く市民等への理解を深め次世代へ伝える体制を構築していく。また、未来に残すべき文化的景観・歴史的遺産を市民共有の財産として正しく継承するため、人材育成を進める。特にサクラを含む樹木保護と観光地角館の持続的な環境保全の観点から、樹木匠の育成指導を重要施策とする。 A 文化財保存活用地域計画作成事業 B 桜保護管理事業 C 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業 D 武家屋敷公開管理事業費 E 旧石黒（恵）家公開事業 F 河原田家公開管理事業費 ②文化財の建築的価値を明らかにし、新たな文化財指定等今後の保存活用施策に繋げていく。また建築の専門職員配置を行い継続的な修理につなげ、本物を残すための施策を行う。 G 近代和風建築等総合調査事業 H 歴史的建造物調査事業	AGH)指定文化財数 2023実績：198件 2024実績：194件 2025目標：194件 B)桜保護団体数 2023実績：7件 2024実績：9件 2025目標：9件 CDEFGH)文化財修理件数 2023実績：8件 2024実績：4件 2025目標：5件 BCDEF)武家屋敷入館者数 2023実績：12万人 2024実績：15万人 2025目標：20万人
	歴史的文化遺産の活用（文化財課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 「歴史文化遺産の保存と活用」の市民満足度（市民意識調査） 2024:37.8% → 2025:39.8%		
	○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略		
課題6	○施策名（関係する課）	①市民が気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツを推進する。 A 市民スポーツ・レクリエーション事業 B スポーツ推進員派遣事業 C スポーツ協会事業費補助金 ②子どもたちのスポーツ振興や心身の健全育成を推進する。 D スポーツ少年団本部補助金 ③市民が誰でも気軽に安心安全にスポーツに親しむことができる環境を整備し、機能の充実を図るため、計画的な改修・整備に務める。 E 社会体育施設管理運営事業 ④田沢湖マラソンの効率的な運営を図り、参加者や来訪者の満足度向上を図る。 F 田沢湖マラソン大会負担金	AB)市民スポーツ・レクリエーションの参加者数 2023実績：529人 2024実績：517人 2025目標：500人 C)会員数 2023実績：1,237人 2024実績：1,149人 2025目標：1,200人 D)団員数 2023実績：464人 2024実績：395人 2025目標：320人 E)社会体育施設の利用満足度 2023実績：未計測 2024実績：未計測 2025目標：60% F)参加者数（エントリー数） 2023実績：3,271人 2024実績：3,171人 2025目標：3,100人
	生涯スポーツの振興（スポーツ振興課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 「スポーツを通じた地域振興の推進」満足度 2024:22.8% → 2025:24.2%		
	○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略 ・公共施設等総合管理計画 ・社会教育中期計画		



2025年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

農林商工部	部(局)	記入年月日	令和 7 年 4 月 1 日	部(局)長名	門脇 朋宏	記入者所属氏名	農林商工部長 門脇 朋宏
-------	------	-------	----------------	--------	-------	---------	--------------

1.部の役割・使命	本市における産業従事者の高齢化や若い人材、後継者不足が深刻・慢性化している現状を踏まえ、農業分野においては、就農者を増やすため、ほ場整備事業を契機とした法人化や農地集積を推進するとともに、ICT・IoT等の先端技術を活用したスマート農業の実践を促進し、魅力ある農業の実現を目指します。また、商工業分野においては、工業団地への魅力ある企業の誘致を推進し、新たな雇用の場を創出するとともに若者が働きやすいと感じる魅力的な仕事の創出、中小企業に対する人材確保等の支援を図り、創造性あふれる産業が息づくまちを目指し、幸福度向上に貢献します。	2.部の人的資源(人) 20250401 現在	正職員	24
			会計年度	11

3・6つの重要視すべき価値	(1) 市民一人ひとりのために	R7目標	市民の目線をもち、市民ニーズに的確に対応します。
		R6目標	同上
	(2) 常に目標・目的を問い続け	R7目標	変化する社会を見据え新しい目標を検討します。
		R6目標	同上
	(3) 新しい手法・発想へのトライを続け	R7目標	情報のアンテナを張り巡らし、自ら積極的に新しい情報を得るよう心がけます。
		R6目標	同上
	(4) 心身共に健康で	R7目標	職員一人ひとりが心身ともに健康で安定した職場環境で仕事ができるよう取り組みます。
		R6目標	同上
	(5) 市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R7目標	市役所の各部署、市民、企業、関係団体等と積極的に連携します。
		R6目標	同上
	(6) コスト・成果にこだわる	R7目標	限られた予算の中で、最大限の効果が出せるよう意識・努力します。
		R6目標	同上

4. 6つの重要視すべき価値R6目標に対する総括	目まぐるしく変化する社会情勢のなか、農林関係では有害鳥獣(イノシシ)対策等若干の遅れはあったものの対応できたのではないかと思います。一方で部局内から1名の退職者を出してしまった点については、職場環境等も含めて検証する必要がある。 商工関係では新規事業を含め概ね事業実施できたと思うが、市民ニーズに対応できたと言えれば疑問が残る。また、新たにホテル関係企業の誘致に取り組んだが実現には至らなかった。 また、部局内の時間外勤務については、各課が削減に取り組んでいるものの国県直接事業(水田活用交付金事業等)、有害鳥獣対策、災害関連対応及び森林環境譲与税関連事業の業務量に対し人員が不足しているため、恒常的に時間外勤務をせざるを得ない状況である。職員が心身ともに健康で安定した職場環境で仕事ができるよう適正な人員配置を検討していく必要がある。
--------------------------	---

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課）	市の重点品目をはじめとする高収益が期待される園芸作物や6次産業化への取り組み、水稻や大豆、そば等の土地利用型作物の生産性向上や生産コスト低減の取り組みを支援し、農業所得の向上を図るとともに、複合型生産構造への転換及び持続可能な農業体系の推進・定着を図る。 A 夢ある園芸産地創造事業 園芸作物の生産及び6次産業化に必要な資機材・施設整備に係る費用を助成する。補助率：県1/3以内、市1/12以内 B 仙北市畑作園芸等振興事業 水田を活用した畑作園芸品目栽培に必要な資機材等導入費用を助成する。補助率：市1/3以内（上限35万円） C 農業用マルチコブター導入事業 農業用ドローンの機体導入・操作技能認定証取得に係る費用を助成する。補助率：機体 市1/3以内（上限50万円）、認定証 市1/2以内（上限8万円、更新の場合は上限5万円） D 薬用作物等産地拠点化支援事業 生薬メーカーのツムラと連携し、地域の土壌に合ったニーズの高い品目の栽培を促進し、薬用作物の産地拠点化の取り組みを支援する。	【KPI】 AB) ・重点作物作付面積 2023実績：102ha 2024実績：91ha 2025目標：120ha ・認定新規就農者数 （2019年度からの累積件数） 2023実績：13件 2024実績：15件 2025目標：18件 ・集落営農・農業経営法人数 2023実績：50組織 2024実績：51組織 2025目標：55組織 C) ・マルチコブター導入台数 （2019年度からの累積件数） 2023実績：26台 2024実績：30台 2025目標：28台 ※導入事業活用件数 D) ・薬草生産組合の薬用作物栽培面積 2023実績：16.5ha 2024実績：18.0ha 2025目標：17.5ha
	魅力ある農業の振興（農業振興課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 農業産出額 2017実績：63億1千万円 2021実績：49億4千万円 2025目標：49億6千万円 （公表時期：2026年3月見込）		
	※出典：農林水産省 市町村別農業産出額（推計）		
	○関係計画等		
課題2	○施策名（関係する課）	耕畜連携（資源循環）による環境型農業の推進や低コスト化を図るとともに、畜産にかかる労働力軽減による経営複合化を支援し、安全・安心な畜産物生産の推進と農業所得の向上を図る。 A 畜産導入事業 育種価評価に基づき、優れた育成子畜を導入し、優良子畜生産の推進を図る。補助率（1頭に付き）：優良雌牛導入3万円～、優良牛自家保留3万円、肥育元牛導入5万円 B 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業 複合型生産構造への転換・定着を推進し、畜産の産出額拡大を図るため、担い手となる経営体等へ支援する。補助率（1頭につき）：繁殖雌牛導入24万6千円（うち県補助19万7千円）、自家保留10万円（うち県補助8万円） C 大覚野牧場管理運営事業 資源循環を活かした低コスト化や放牧頭数の増加に取り組み、畜産農家の労働力軽減による経営複合化を図る。併せて、大覚野牧場の草地造成及び草地整備を実施し、放牧環境の整備と放牧頭数の増加とともに乾草の増産・増収を図る。草地整備事業が完了し、牧草が生育するまでは牧草地の面積が確保できないため、放牧頭数を制限している。 D 仙北市堆肥センター管理運営事業 家畜排せつ物等の適正な処理とともに、有機質資源としての有効利用を進め、畜産環境の改善と資源循環型農業の推進を図る。	【KPI】 AB) ・肉用牛飼養頭数 2023実績：814頭 2024実績：809頭 2025目標：1,000頭 （1,200頭から下方修正） ・子牛販売頭数 2023実績：191頭 2024実績：162頭 2025目標：300頭 （330頭から下方修正） C) ・大覚野牧場への放牧頭数 2023実績：27頭 2024実績：37頭 2025目標：100頭 ※草地整備事業完成に伴い受入頭数を拡大。 D) ・堆肥センターでの家畜排泄物の処理量 2023実績：2,100ト 2024実績：2,192ト 2025目標：2,500ト （4,800トから下方修正）
	畜産の振興（農業振興課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 農業産出額（畜産） 2021実績：5億6千万円 2025目標：6億7千万円 （公表時期：2026年3月見込）		
	※出典：農林水産省 市町村別農業産出額（推計）		
	○関係計画等		
課題2	○施策名（関係する課）	耕畜連携（資源循環）による環境型農業の推進や低コスト化を図るとともに、畜産にかかる労働力軽減による経営複合化を支援し、安全・安心な畜産物生産の推進と農業所得の向上を図る。 A 畜産導入事業 育種価評価に基づき、優れた育成子畜を導入し、優良子畜生産の推進を図る。補助率（1頭に付き）：優良雌牛導入3万円～、優良牛自家保留3万円、肥育元牛導入5万円 B 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業 複合型生産構造への転換・定着を推進し、畜産の産出額拡大を図るため、担い手となる経営体等へ支援する。補助率（1頭につき）：繁殖雌牛導入24万6千円（うち県補助19万7千円）、自家保留10万円（うち県補助8万円） C 大覚野牧場管理運営事業 資源循環を活かした低コスト化や放牧頭数の増加に取り組み、畜産農家の労働力軽減による経営複合化を図る。併せて、大覚野牧場の草地造成及び草地整備を実施し、放牧環境の整備と放牧頭数の増加とともに乾草の増産・増収を図る。草地整備事業が完了し、牧草が生育するまでは牧草地の面積が確保できないため、放牧頭数を制限している。 D 仙北市堆肥センター管理運営事業 家畜排せつ物等の適正な処理とともに、有機質資源としての有効利用を進め、畜産環境の改善と資源循環型農業の推進を図る。	【KPI】 AB) ・肉用牛飼養頭数 2023実績：814頭 2024実績：809頭 2025目標：1,000頭 （1,200頭から下方修正） ・子牛販売頭数 2023実績：191頭 2024実績：162頭 2025目標：300頭 （330頭から下方修正） C) ・大覚野牧場への放牧頭数 2023実績：27頭 2024実績：37頭 2025目標：100頭 ※草地整備事業完成に伴い受入頭数を拡大。 D) ・堆肥センターでの家畜排泄物の処理量 2023実績：2,100ト 2024実績：2,192ト 2025目標：2,500ト （4,800トから下方修正）
	畜産の振興（農業振興課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 農業産出額（畜産） 2021実績：5億6千万円 2025目標：6億7千万円 （公表時期：2026年3月見込）		
	※出典：農林水産省 市町村別農業産出額（推計）		
	○関係計画等		
課題2	○施策名（関係する課）	耕畜連携（資源循環）による環境型農業の推進や低コスト化を図るとともに、畜産にかかる労働力軽減による経営複合化を支援し、安全・安心な畜産物生産の推進と農業所得の向上を図る。 A 畜産導入事業 育種価評価に基づき、優れた育成子畜を導入し、優良子畜生産の推進を図る。補助率（1頭に付き）：優良雌牛導入3万円～、優良牛自家保留3万円、肥育元牛導入5万円 B 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業 複合型生産構造への転換・定着を推進し、畜産の産出額拡大を図るため、担い手となる経営体等へ支援する。補助率（1頭につき）：繁殖雌牛導入24万6千円（うち県補助19万7千円）、自家保留10万円（うち県補助8万円） C 大覚野牧場管理運営事業 資源循環を活かした低コスト化や放牧頭数の増加に取り組み、畜産農家の労働力軽減による経営複合化を図る。併せて、大覚野牧場の草地造成及び草地整備を実施し、放牧環境の整備と放牧頭数の増加とともに乾草の増産・増収を図る。草地整備事業が完了し、牧草が生育するまでは牧草地の面積が確保できないため、放牧頭数を制限している。 D 仙北市堆肥センター管理運営事業 家畜排せつ物等の適正な処理とともに、有機質資源としての有効利用を進め、畜産環境の改善と資源循環型農業の推進を図る。	【KPI】 AB) ・肉用牛飼養頭数 2023実績：814頭 2024実績：809頭 2025目標：1,000頭 （1,200頭から下方修正） ・子牛販売頭数 2023実績：191頭 2024実績：162頭 2025目標：300頭 （330頭から下方修正） C) ・大覚野牧場への放牧頭数 2023実績：27頭 2024実績：37頭 2025目標：100頭 ※草地整備事業完成に伴い受入頭数を拡大。 D) ・堆肥センターでの家畜排泄物の処理量 2023実績：2,100ト 2024実績：2,192ト 2025目標：2,500ト （4,800トから下方修正）
	畜産の振興（農業振興課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 農業産出額（畜産） 2021実績：5億6千万円 2025目標：6億7千万円 （公表時期：2026年3月見込）		
	※出典：農林水産省 市町村別農業産出額（推計）		
	○関係計画等		

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題3	○施策名（関係する課）	農業者の高齢化・離農が進む中、次世代を担う農業後継者が、生産性・収益性の高い技術を習得し安定的・持続的な農業経営基盤確立への取り組みに対し支援するとともに、新たに農業法人を設立する際の相談窓口として体制を整備し、地域農業の担い手の確保に努める。 A 未来農業のフロンティア育成研修事業（補助金） 新規就農を目指す若者を対象に、県農業試験場等で研修する研修生へ支援する。月額10万円（うち県補助5万2,500円） B 新規就農総合支援事業（補助金） 青年の就農意欲の喚起と就農後の経営の安定、定着を図る。 ・経営開始資金：認定新規就農者に対して支援する。月額12万5千円、国10/10、最長3年間 ・経営発展支援事業：認定新規就農者の機械・施設等の導入に支援する。補助率：国1/2、県1/4、補助対象事業費上限1,000万円 C 地域で学べ！農業技術研修事業（補助金） 新規就農者の大仙市農業振興情報センターでの研修に対し支援する。月額7万5千円	【KPI】 ABC) ・農業法人数 2023実績:40法人 2024実績:41法人 2025目標:45法人 ・認定新規就農者数 (2019年度からの累積件数) 2023実績:13件 2024実績:15件 2025目標:18件
	農業現場を支える人材の確保（農業振興課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 農業従事者数の直近5年間の減少率 2015実績:△21.9% 2020実績:△22.5% 2025目標:△20%以内 (公表時期:2026年12月見込) ※出典:農林水産省 農業センサス		
	○関係計画等		
課題4	・第2期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）	①生産基盤を整備することにより作業効率や生産性を向上させ、法人等の経営体に農地を集積することで担い手の育成や機械コストの抑制が可能となり、地域農業の維持・発展に寄与し農地の大区画化や排水対策等を実施する。現在は、地元負担が無い農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化を推進するあきた型が主流となっている。 A 農地集積加速化基盤整備事業（ほ場整備） 県営事業 補助額 国費55% 県費27.5% 市費10% 地元負担7.5% B 農地中間管理機構関連ほ場整備事業（ほ場整備） 県営事業 補助額 国費62.5% 県費27.5% 市費10% ②農業・農村の有する多面的機能の維持・発展を図るため、地域で行う共同作業を支援し、地域資源の適切な保全管理の推進 C 多面的機能支払交付金事業 補助額 国費50% 県費25% 市25%	【KPI】 AB) ・ほ場整備率 2023実績:77.5% 2024実績:78.0% 2025目標:79.5% C) ・多面的機能支払制度取組面積 2023実績:3,573ha 2024実績:3,472ha 2025目標:3,570ha
	○施策名（関係する課）		
	土地改良の推進（農林整備課）		
	○達成水準		
	【KGI】 担い手への農地集積面積（単年） 2019実績:390.4ha 2022実績:217.3ha 2025目標:340.0ha		
	○関係計画等		
	・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）		

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題5	○施策名（関係する課）	①仙北市の管理する林道（市内98路線）の維持補修、林道橋（市内約48橋）の調査・補修工事を実施する。また、林業者の後継者不足を補いながら管理の行届いていない私有林人工林の整備促進に寄与するため、森林環境譲与税を活用しながら森林資源の活用の推進を図る。 A 林道維持補修費（林道橋） 補助額 国費50％ 県5％ 市45％ B 林道維持補修費（林道） 森林環境譲与税 100％充当 C 秋田林業大学校研修費補助事業 森林環境譲与税 100％充当 D 再造林支援事業費補助（2023新規） 森林環境譲与税 100％充当 E 人材育成・担い手支援事業費補助金（2023新規） 森林環境譲与税 100％充当 F 林地台帳整備事業 森林環境譲与税 100％充当 G 森林経営管理制度事業 森林環境譲与税 100％充当 ②地域林政アドバイザーによる森林経営に入っていない森林の抽出、私有林整備に関する意向調査の箇所選定、森林所有者の調査、森林経営管理制度に関する業務、経営管理権集積計画の作成業務補助事務等を委託する。 H 森林経営管理制度事業 森林環境譲与税 100％充当 ③仙北市の鳥獣による農林水産業等の被害を防止・軽減させるため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律による仙北市鳥獣被害対策実施隊を設置し被害防止に努める。また、近年ツキノワグマの出没が増加し人身被害も多くなっており、実施隊員の若返りや拡充と共に檻の増設が求められている。 I 有害鳥獣駆除事業	【KPI】 AB) ・林道橋補修数（累計） 2023実績:5橋 2024実績:5橋 2025目標:6橋 CE) ・新規林業就業者数（累計） 2023実績:8人 2024実績:9人 2025目標:11人 C) ・林業経営体新規雇用数（累計） 2023実績:1人 2024実績:6人 2025目標:10人 D) ・再造林支援事業活用面積 2023実績:植栽面積 14.0ha 2024実績:植栽面積 8.7ha 2025目標:植栽面積 10.0ha 2023実績:下刈面積 0ha 2024実績:下刈面積 14.0ha 2025目標:下刈面積 30.0ha FGH) ・森林経営管理制度による調査面積（西木地区:累計） 2023実績:1,126.07ha 2024実績:1,174.04ha 2025目標:1,242.28ha I) ・鳥獣被害対策実施隊員数 2023実績:95人 2024実績:101人 2025目標:105人 ・市所有クマ用檻数 2023実績:27基 2024実績:33基 2025目標:39基
	豊かな森林資源の整備と活用促進（農林整備課）		
	○達成水準		
	【KGI】 ・林業就業者数 2015実績:207人 2020実績:195人 2025目標:210人 （公表時期:2027年5月見込） ※出典:総務省 国勢調査 ・農作物鳥獣被害額の抑制 2021実績:373万6千円 2022実績:63万4千円 2025目標:50万円以内 （公表時期:2026年2月見込） ※出典:秋田県 農作物鳥獣被害調査		
	○関係計画等		
	・仙北市鳥獣被害防止計画 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）		
課題6	○施策名（関係する課）	市内農地の大半を占める中山間地域等において、農用地集積による利用の最適化を図るとともに、農用地の適切な維持管理及び多面的機能の発揮を図るため地域の共同活動等に支援する。 A 農地利用最適化交付金事業 農業委員会の積極的な活動を推進するため、担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消活動、新規参入の促進等の農地利用の最適化に向けた活動を推進する。 B 中山間地域等直接支払事業 農業生産条件が不利な中山間地域等において、農用地を維持管理するための協定に従い農業生産活動等を行う集落等に対し支援する。 C 多面的機能支払交付金事業（再掲） 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。	【KPI】 ABCD) ・耕作放棄地面積 2023実績:29.9ha 2024実績:31.8ha 2025目標:28.0ha AD) ・担い手への農地集積面積（単年） 2023実績:442.7ha 2024実績:124.8ha 2025目標:340.0ha
	中山間地域及び耕作放棄地の有効活用（農業振興課、農業委員会）		
	○達成水準		
	【KGI】 農林水産業所得額 2015実績:6億1千9百万円 2020実績:7億1千3百万円 2025目標:7億5千万円 （公表時期:2028年4月見込） ※出典:秋田県 秋田県市町村民経済計算（市町村民所得）		
	○関係計画等		
	・第2期仙北市総合戦略 ・新ふるさと秋田農林水産ビジョン（県）		

4. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題7	○施策名（関係する課）	外国人材の活用など多様な人材確保支援、意欲のある事業者や起業家等への支援、事業承継の円滑化に向けた支援を行い、地域経済の活性化を図る。 ①市内商店街の活性化対策としてイベント等の振興策に対し支援を行い、活性化に努める。 A 商店街等賑わい支援事業（補助金） ※補助対象経費の1/2以内、上限30万円、同一事業の場合は実施年度の翌年度は対象外 ②賑わいのある商店街形成と中小小売企業振興策として家賃補助を実施し、新規企業等支援及び商店街の活性化を図る。 B 空き店舗等利活用事業（補助金） ※㎡当たり上限2千円、補助対象経費の2/5以内、12カ月間、補助限度額上限8万円 ③仙北市で起業・創業したい人を呼び寄せることで人の流れを新たに作り出すとともに、将来的に雇用創出につなげるため、創業・経営塾を開催する。 C 域内起業家育成支援事業（補助金） ※せんばく創業・経営塾の開催 ④就職支援としてハローワークの求人情報を市内コンビニ等に配置。 高校生を対象とした事業所視察会や企業説明会を開催し、地元企業の情報発信の機会を提供すると共に、高校生の地元就職への関心を高める。 D 企業視察会、企業説明会、企業ガイダンス、就職面接講座	【KPI】 A) ・商店街賑わい支援数 2023実績：1件 2024実績：0件 2025目標：2件 B) ・空き店舗等利活用数 2023実績：4件 2024実績：3件 2025目標：2件 C) ・創業・経営塾修了者数（累計） 2023実績：57人 2024実績：62人 2025目標：69人 D)（KGIへ直接関係はしないが重要施策であるため記載） ・高校生向け事業実施数 2023実績：4事業 2024実績：4事業 2025目標：4事業
	商工業の振興（商工課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 創業・経営塾受講者のうち創業者数（累計） 2019実績：10人 2020実績：11人 2025目標：25人 （33人から下方修正）		
	○関係計画等		
	・第2期仙北市総合戦略		
課題8	○施策名（関係する課）	伝統的工芸品等の技術継承や原材料確保支援、地場産品の商品開発や地域ブランド化支援を行い、情報発信や販路拡大に努め振興を図る。 ①首都圏にて物産展を引き続き開催し、仙北市産農産物等の販売及びPRを行い、今後工芸品についての出店を視野に入れ販路拡大に努める。 A 特産物販売促進対策事業：山の楽市（東京都町田市） ②原材料確保による安定的な商品製作、各種展示即売会出店による販路拡大及びコラボ商品や新商品開発を行う。 B 樺細工振興事業及び伝統工芸品等振興支援事業（補助金） ③伝統工芸士等の高齢化が顕著で減少傾向であることから、新たな担い手確保に努める。 ④首都圏等での物販イベントに、市内の事業者等が出店する場合の、移動や輸送に係る経費の一部を支援する。 C 物産展等出店支援事業補助金（2024～）	【KPI】 A) ・山の楽市販売額（農産物販売額を含む） 2023実績：7,301千円 2024実績：8,526千円 2025目標：7,400千円 B) ・伝統工芸品生産額 2023実績：2.7億円 2023実績：2.7億円 2025目標：2.8億円 C) ・物産展等出店者数 2025目標：6件
	物産の振興（商工課・伝承館）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 伝統工芸品販売額 2014実績：10億6千万円 2020実績：2億9千万円 2025目標：3億5千万円		
	○関係計画等		
	・第2期仙北市総合戦略		
課題9	○施策名（関係する課）	市内企業へ生産性向上に向けた取組等支援し、事業拡大や雇用拡大を促進するとともに、市工業団地への受入を推進し、雇用の創出と地域経済活性化を図る。 ①企業立地事務所に職員を派遣し、情報収集・発信等の誘致活動を行う。工業団地については、柔軟な活用を検討する。 A 企業誘致対策事業 B 企業立地奨励金 ②市内未就職者の資格取得経費を支援し、労働力確保に努める。 また、地方創生交付金等の各種交付金を活用し、若者・女性の雇用拡大事業創設を検討する。 C 雇用対策事業（補助金） ③創業する事業者に対し設備等の導入経費について支援を行う。 D 中小企業活性化支援事業（新規開業）（補助金） ④サテライトオフィスの地方設置を検討している首都圏等のデジタル企業にモニターツアー実施等の誘致活動等を行い、リモートワークなど、市内における職業選択や雇用環境の拡充を図る。 E サテライトオフィス誘致PR・企画運営事業	【KPI】 A) ・誘致・進出企業数 目標：1社 B) ・新規企業立地奨励金交付事業者数 2023実績：0社 2024実績：0社 2025目標：1社 C) ・雇用対策事業補助金交付者数 2023実績：0人 2024実績：4人 2025目標：7人 D) ・中小企業活性化支援事業（新規開業）補助金交付事業者数 2023実績：5社 2024実績：5社 2025目標：4社 E) ・サテライトオフィス誘致件数 2023実績：2社 2024実績：0社 2025目標：1社
	企業立地の推進と企業活動の支援（商工課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 労働力人口における就業率 2015実績：95.4% ・労働力人口 14,146人 ・就業者数 13,499人 2020実績：96.1% ・労働力人口 12,990人 ・就業者数 12,485人 2025目標：97.0% （公表時期：2027年5月見込） ※出典：総務省 国勢調査		
	○関係計画等		
	・第2期仙北市総合戦略		



2025年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

建設部	部(局)	記入年月日	令和 7 年 4 月 1 日	部(局)長名	三木 啓元	記入者所属氏名	建設部長 三木 啓元	
1.部の役割・使命		社会基盤（道路、河川、都市計画、市営住宅、公園、冬期交通対策、温泉、水道、下水道）の維持整備に努めることで、安全・安心で暮らしやすく市民が幸福を感じるまちづくりを推進し、「全国幸福度No.1」を目指します。				2.部の人的資源（人） 20250401現在	正職員 会計年度	26 4
3・6つの重要視すべき価値	(1) 市民一人ひとりのために	R7目標	市民一人ひとりの安全・安心で快適な生活環境を築き、守り続けるため、インフラの現状や整備計画を広く提供し理解を得ながら、インフラの建設・維持修繕に努めます。					
		R6目標	事業を進める上で、市民からの要望を的確に把握し、常に市民目線での公共サービスの提供に努めます。					
	(2) 常に目標・目的を問い続け	R7目標	持続可能なインフラを実現するため、当市の現状を踏まえ、将来を見据えた目標設定を行い、状況に合わせた軌道修正をしながら、市民の生活向上と地域の発展に貢献します。					
		R6目標	これまでの事務事業を点検し、目標・目的・手法等を状況に合わせ軌道修正していきます。					
	(3) 新しい手法・発想へのトライを続け	R7目標	人口減少や財源の縮小に対応するため、新たなインフラマネジメントの検討を図りながら持続可能なまちづくりを目指します。					
		R6目標	ICTを始め新しい手法や技術、関連する情報等に関心をを持ち、社会の変化に併せた業務の変革に努めます。					
	(4) 心身共に健康で	R7目標	業務配分の適正化により残業の削減、有給休暇の取得を推進し、職員一人ひとりが人生の充足感を得ながら仕事に励めるよう努めます。					
		R6目標	健康でなければいい仕事はできません。部課員の心身の状況に配慮し、働きやすい職場づくりに努めます。					
	(5) 市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R7目標	他部署との情報共有、市民・関係団体との連携強化に努め、事業の効率性と事業効果の最大化を図ります。					
		R6目標	部の役割・使命を果たすため、庁内各部署や仙北市建設業協会、仙北市管工事協会等と連携を図ります。					
	(6) コスト・成果にこだわる	R7目標	事業の前段階の調査、計画を徹底し、イニシャルコストだけでなくランニングコストや事業化のリスク、市民一人ひとりへの効果を把握し、未来を見据えた事業実施を徹底します。					
		R6目標	「最小のコストで最大の成果」を念頭に、限られた予算で最大の効果が発揮されるようこだわっていきます。					
4. 6つの重要視すべき価値R6目標に対する総括		・地域の要望や状況の変化に対応し、軌道修正しながら事業を進めています。 ・新技術である水道スマートメーターの導入試験を行っています。 ・昨年、部内で免職処分者を出してしまい、反省しております。再発防止に向け職員の業務量や心身の状況に配慮し、働きやすい職場環境づくりに努めます。 ・建設業協会等と意見交換会を実施し、事業推進のため連携しています。 ・職員の技術的判断により、計画の精度を高め、的確な見通しと執行に努めています。						
5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可					指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）	
課題Ⅰ	○施策名（関係する課）	①水道未普及地域解消事業 生活基盤施設耐震化等交付金事業（国庫補助）を活用して、水道普及率を向上させ、料金収入の増を図ります。 ・卒田地区（2030完成予定） 2025目標進捗率：59.9%（事業費ベース） ②料金改定を実施し経営基盤の安定化を図ります。 ・HP、広報等での周知を徹底（2026.9.1まで計3回の改定） ③老朽管等更新事業 耐用年数を超えた管路を計画的に更新するとともに有収率を向上させることにより、人件費・薬品費・修繕費等の支出抑制を図ります。 財源確保のため、水道管路緊急改善事業（国庫補助）を利用し管路更新を加速化させます。 ・角館、生保内地区の管路更新工事 ④水道事業のDX化 情報の集約、可視化等により事業の効率化を進めます。 ・スマートメーター導入の検討（2024年度実施件数4件） ・上下水道料金WEB確認サイト導入の検討（新規） ※・水道施設台帳の電子化【済】・水道施設監視システムの導入【済】 ・水道使用異動届オンライン申請【済】					○指標及び目標値 現状値 2023年度 ①水道普及率 65.8% ②④料金回収率 66.8% ③④有収率 52.8% 2024年度実績値未確定 目標値 2025年度 ①水道普及率 67.9% ②④料金回収率 80.0% ③④有収率 52.5%	
	安全な水道の供給（上下水道課）							
	○達成水準（KGI）							
	経営基盤の安定化により、持続可能な水道事業の確立を図ります。 【KGI】 ・経常収支比率（水道） 目標値 2025年度 前年対比 3.0%増 現状値 2023年度 77.2% 前年対比 0.8%減							
	○関係計画等							
・仙北市水道事業基本計画（2025年度更新予定） ・仙北市水道事業ビジョン ・仙北市上下水道耐震化計画 ・仙北市水道事業経営戦略（2025年度策定予定）								

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題2	○施策名（関係する課）	①自主財源の確保 経費回収率を向上させるため、公共下水道及び農業集落排水整備区域内における接続率を向上させていきます。 ②ストックマネジメント（施設老朽化対策） 社会資本整備総合交付金事業（国庫補助）を活用して、老朽化した処理施設・管路施設の長寿命化を図ります。 ・田沢湖浄化センター電気機械設備、建具（2023～2027年度） ・田沢湖地区管路施設（2027～2031年度） ・生保内地区マンホールポンプ（2028～2031年度） ③ウォーターPPP導入検討（新規） 民間ノウハウの導入によるサービス向上、経営改善を目的とし、現行の維持管理委託に加え資産の更新も合わせた公共下水道の包括的管理委託の実現を目指します。2025年度：事前検討	○指標及び目標値 補助事業等を活用し下水道施設や設備の長寿命化を図りつつ、経費や費用の縮減等を図り人口減少の状況等を勘案した料金水準の再検討により安定した経営基盤の実現に努めます。 ①使用料増加率 （2019年度を100%として） 目標値 2025年度 112.1% 現状値 2023年度 112.3% 2024年度実績未確定 ②③施設の長寿命化 有形固定資産減価償却率（公共下水道事業） 目標値 2025年度 20.0%以下 現状値 2023年度 14.3% 2024年度実績未確定
	下水道の整備 （上下水道課）		
	○達成水準（KGI）		
	経営基盤の安定化により、持続可能な下水道事業の確立を図ります。 【KGI】 ・経費回収率 目標値 2025年度 72.0% 現状値 2023年度 62.2%		
	○関係計画等		
	・仙北市下水道ストックマネジメント計画 ・循環型社会形成推進地域計画 ・仙北市下水道事業経営戦略 ・仙北市上下水道耐震化計画		
課題3	○施策名（関係する課）	①温泉施設設備の維持管理 温泉の安定供給のため、温泉施設の適正な管理運営に努めます。 ・温泉分湯槽メンテナンス業務委託 ・温泉管橋台補修等 ・分湯槽給湯ボイラー更新	○指標及び目標値 ①供給戸数・口数 2022年度 45戸・135口 2023年度 44戸・134口 2024年9月 43戸・133口 目標値 2025年度 43戸・133口（現状維持）
	温泉の安定供給 （上下水道課）		
	○達成水準（KGI）		
	供給戸数・口数が減少の中、安定供給により供給数を維持し収入を確保します。 【KGI】 ・普通供給料 目標値 2025年度 27,132千円 （17千円×133口×12ヵ月）		
	○関係計画等		
	・仙北市温泉事業経営戦略 （2025年度策定予定）		
課題4	○施策名（関係する課）	市民生活に密接に関わる市道の、幹線道路を中心とした改良舗装等の整備と道路構造物等の長寿命化に向けた取り組みを実施します。 ①道路新設改良事業（A、B、C、D、E） 住民の要望や危険と思われる市道の改良舗装等及び老朽化した橋梁の補修を計画的に進め道路交通網の整備を推進します。 A 社会資本整備総合交付金事業（補助） 神代中央線道路改良工事ほか B 道路メンテナンス事業（補助） 内川橋ほか C 辺地対策事業 市道大覚野線側溝改良工事ほか D 過疎対策事業 市道生保内中央線道路舗装工事ほか E 臨時地方道整備事業 市道西木線道路舗装工事ほか ②道路維持事業（A、B、C） 安全・安心な交通確保のため、適切に道路を管理し、管理瑕疵による事故発生をなくします。 F 道路補修事業 舗装補修工事ほか G 冬期交通対策事業（除雪オペレーターの確保・女性オペレーターの育成等検討） H 雪寒地域建設機械整備事業（補助） 除雪機械購入	①補修完了済橋梁数 2022末 4橋 2023補修完了 2橋 （桧木内橋、安久戸橋） 2024補修完了 2橋 （朴田橋、相内川橋） 2025補修完了目標 1橋 （内川橋） 2026補修完了目標 4橋 （長戸呂橋、神代橋、湯沢橋、小山寺橋） ※PCB除去含む ②事故発生件数 2022実績 0件 2023実績 1件 2024実績 0件 2025目標 0件
	道路網の整備 （建設課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 補修完了橋梁数 10橋 道路管理瑕疵による事故発生件数 0件 目標年度 2025		
課題5	○関係計画等	道路利用者の安全確保と利便性を図るため、カーブミラー、区画線、防護柵、歩道等の整備を行い交通安全の推進を図ります。 ①交通安全施設整備事業 A 道路反射鏡（カーブミラー）設置工事 B 区画線設置工事 C 市道神代西明寺線防護柵設置工事 ②安全・安心道路維持整備事業 市道岩瀬通線歩道整備工事	①2023整備実績 カーブミラー 5基 区画線 9,726m 防護柵 15m 2024整備実績 カーブミラー 5基 区画線 8,233m 防護柵 13m 2025整備目標 カーブミラー 5基 区画線 10,000m 防護柵 22m ②歩道整備延長 2024整備実績 298m 2025整備目標 120m
	交通安全の推進 （建設課・総合防災課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民アンケート「道路網の整備・交通安全の推進」の満足度を上げる。 満足度（市民意識調査）2024:29.7%		
	○関係計画等		
	・第11次仙北市交通安全計画・実施計画		

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題6	○施策名（関係する課）	既存の公園・緑地を安全・安心に利用できるよう維持管理し、自然と調和した潤いのある暮らしを提供できるよう努めます。 ①公園維持管理事業 A 生保内公園維持管理事業 ・遊具点検業務委託 ・つつじ剪定 ・草刈り、トイレ清掃等 B 公園維持管理事業（角館地区） ・角館駅東公園トイレ洋式化工事 ・遊具点検業務委託 ・草刈り、トイレ清掃等	①トイレの洋式化 2024 0基 2025 2基（角館駅東公園） 2026以降 7基（生保内公園）
	公園・緑地の整備（建設課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民アンケート「公園・緑地の整備」の満足度を上げる。 満足度（市民意識調査）2024：25.7%		
	○関係計画等 ・仙北市公園施設長寿命化計画 ・仙北市都市計画マスタープラン		
課題7	○施策名（関係する課）	近年多発している豪雨災害等に対応するため、災害に強いまちづくりを推進します。 ①河川改修事業・排水対策事業 過去に浸水及び冠水した箇所について継続して河川改修を行い災害の未然防止に努めます。 A 下高野川河川改修工事 B 長戸呂地区排水対策工事 ②河川維持補修事業 河川に堆積した土砂等を撤去し河道確保するとともに護岸等の補修を行い浸水被害等の未然防止及び軽減を図り、併せて土木施設の長寿命化に努めます。 A 河川護岸修繕 B 河川浚渫修繕	①河川改修延長 豆栗沢川 2023 L=53m 下高野川 2023 L=37m 2024 L=11m 2025 L=30m ②護岸修繕、浚渫修繕河川数 2023 7河川 2024 7河川 2025 7河川
	防災体制の充実（建設課・総合防災課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 河川改修延長 L=130m 浚渫実施河川数 9河川		
	○関係計画等		
課題8	○施策名（関係する課）	①市営住宅管理運営事業 適宜入居募集を行い入居率向上に努めるとともに、入居者が安全・安心で快適な生活が送れるよう既存住宅の補修等計画的に行います。 また、耐用年数が経過し耐震性がない住宅については、空き家になり次第順次解体除却します。（除却対象住宅：武蔵野住宅、玉川住宅、田中住宅、岩瀬住宅） A ニュータウン塚野腰外壁・屋根塗装工事（2022～2029） ②住宅・建築物安全ストック形成事業（社会資本整備総合交付金事業） 地震による木造住宅の倒壊等の災害を未然に防止し、市民の安全・安心を確保するため、耐震診断と耐震改修の費用の一部に補助を行います。	①市営住宅入居率目標 2024実績 90%（203/225） 2025目標 95%（218/229） ②耐震診断（補助） 2024実績 0件 2025目標 2件 ②耐震改修（補助） 2024実績 0件 2025目標 1件
	住宅・住環境の整備（建設課）		
	○達成水準（KGI）		
	入居率（入居者戸数）100%		
	○関係計画等 ・仙北市公営住宅等長寿命化計画 ・仙北市耐震改修促進計画（第3期）		
課題9	○施策名（関係する課）	人口減少、少子高齢化社会に対応した安全・安心な都市の形成を図るため、第2次仙北市都市計画マスタープランを改定します。 また、国ではコンパクトシティを推奨しており、マスタープランの見直しに併せ計画策定することが効果的です。持続的で魅力あるまちづくりを進めるため、仙北市立地適正化計画策定に取りかかります。 その他、既存の都市施設の適切な維持管理をします。 ①第2次仙北市都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務 【関連事業】 ・2022年度 都市計画基礎調査 ・2023年度 コンパクトなまちづくり講習会の実施 【参考（立地適正化計画）】 ・全国では891都市が具体的な取り組みを実施 内、599都市が計画策定・公表 内、347都市が防災指針を記載し、公表済 ・県内では8市町（秋田、能代、横手、大館、湯沢、由利本荘市、大仙、小坂）が策定済	①2024年度 計画策定に向けた準備作業（資料収集・内部検討） 国庫補助金交付申請 2025年度 計画策定業務委託着手 2026年度 計画（案）策定、説明会等 2027年度 計画策定、公表
	都市計画の推進（建設課）		
	○達成水準（KGI）		
	第2次都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定、公表		
	○関係計画等 ・仙北市都市計画マスタープラン		
課題10	○施策名（関係する課）	① 自然と歴史的環境は、地域の文化やアイデンティティを示す重要な要素であり、これらを守り活かすためには、地域・行政・企業の協力や法律の整備が不可欠です。 また、自然と歴史を未来に引き継ぐために、私たち一人ひとりが意識を持ち、適切な保全と活用を進めていくことが重要です。 A 景観形成推進事業	A) 景観学習教室参加者 2024実績：65名 2025目標：53名 角館小学校6年児童数 ※少子化により減少
	自然・歴史的環境の保全と活用（建設課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 ・市全体の景観に対する市民満足度 69.8%→70%（2022→2025） 仙北市景観計画アンケート2022年実施		
	○関係計画等 ・第2次仙北市総合計画 ・第2期仙北市総合戦略		



2025年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

教育委員会	部(局)	記入年月日	令和 7 年 4 月 1 日	部(局)長名	阿部 聡	記入者所属氏名	教育委員会 阿部 聡
-------	------	-------	----------------	--------	------	---------	------------

1.部の役割・使命	仙北市政策基本方針「幸福度NO.1のまちを目指し地域を次世代に継承する」 教育版基本理念 ①学校教育：「誰をも取り残さない教育」 学校教育においては、「ふるさとを愛し、豊かな心・確かな学力・健やかな体を持ち、未来の地域社会を支える意欲と高い志にあふれる仙北のこどもの育成」を目指し、幸福度につながる「誰をも取り残さない学校教育」を推進します。 ・思いやりのある心と健やかな体を育み、命を大切にする教育を推進します。 ・確かな学力の向上を目指します。 ・地域に根ざしたふるさと・キャリア教育（ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業）の一層の充実を図ります。 ・切磋琢磨しながら、多様性を認め合い、柔軟性を育む環境の構築を目指します。 ②社会教育：「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」 社会教育においては、全ての市民が豊かな歴史的遺産や貴重な文化財、恵まれた教育環境の中で生き生きと学び合い、心豊かな人間を育むまちづくりを進めます。 ・歴史と文化を尊び、ふるさとを愛し誇れる人づくりを目指した社会教育を進めます。 ・同じ時代を生きるものとして、他を思いやる心を養う生涯学習を進めます。 ③幼保連携教育「就学前教育の充実と学校教育への円滑な接続」 ・健康でよく遊ぶ子どもに育てます。 ・一人ひとりの良さや可能性を伸ばし、意欲あふれる子どもに育てます。 ・園と小学校の連携を強化し、就学前教育から学校教育への円滑な接続を図ります。 ・「架け橋」プログラムの実施により、小学校入学時の段差解消に努めます。	2.部の人的資源(人) 20250401 現在	正職員	54
			会計年度	77

3・6つの重要視すべき価値	(1) 市民一人ひとりのために	R7目標	①学校教育の基本理念「誰をも取り残さない教育の実現」 ・本市の豊かな自然、歴史的な遺産や偉人、貴重な文化財や人的資源を生かしながら、ふるさとを愛し、誇りに思う心の育成を基盤として「徳・知・体」のバランスのとれた子ども、将来の変化を予測することが困難な時代の中で自分の人生を拓いていくために「多様性」「柔軟性」「協働的な学び」を身につけた子どもの育成を目指します。 ②社会教育の基本理念「誰もが生涯にわたって学び続ける教育」 ・誰もが互いに個性と人格を尊重しながら、共生社会の実現に向けて様々な学習機会を拡充し、切れ目のない支援を通じて多様性に満ちた社会づくりに取り組みます。
		R6目標	①「誰をも取り残さない教育」を基本理念とし、あらゆる施策を講じてその実現に努めます。 ・児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた計画的、系統的、継続的な学校教育、特別支援教育の充実 ・児童生徒・教職員・保護者・地域住民のそれぞれのニーズに応える学校教育、社会教育、給食の環境整備 ②「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」の姿勢で、今求められている多様性を重視し、市民一人ひとりの知識や教養を高め幸福を感じられる生涯学習機会の提供に努めます。
	(2) 常に目標・目的を問い続け	R7目標	①職員、教員、保護者、各種関係団体、学識経験者などからの幅広い意見を傾聴するとともに、市事務・施策評価や外部評価、教育委員会事務事業点検評価の実施を経る中で、市民の幸福度につながる目標、目的を意識して企画立案・実施・点検を行います。
		R6目標	市職員、教職員、保護者、各種関係協議会、団体などからの幅広い意見に耳を傾け、仙北市行財政改革にかかる事務・施策評価、外部評価も含めた教育委員会事務事業点検評価を毎年行い、地域に根差した運営とサービスに重点を置いた市民の幸福度につながる目標、目的を問い続けます。

3 ・ 6 つ の 重 要 視 す べ き 価 値	(3) 新しい手法・発想へのトライを続け	R7目標	①キャリア教育・ふるさと学習支援事業 ・ふるさとの素晴らしさにふれる体験学習等を推進し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて資質や能力を育てるキャリア教育の視点を重視した学習を充実します。 ②ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業 ・ふるさとの未来を創る若者を育てる事業を継続し、児童生徒の市内企業訪問や職場体験、市内の企業紹介、ガイドブック作成（地域で働く人材の紹介）を行います。 ③コミュニティスクール事業 ・地域の皆様の意見・特技等を活かして地域の潜在的な教育力を学校教育に活用し、子どもたちの学びを豊かにすると共に地域の活性化を図る取り組みを進めます。 ④社会教育・生涯学習事業 ・多様な学習ニーズに細やかに対応し講座の充実、新規開拓を図り、良質な学びの場を提供するとともに、自ら学びたい学習や支援を通じて、豊かな心を育む事業を進めます。 ⑤文化・芸術事業 ・何度も施設に足を運びたくなる工夫を凝らした企画・展示・イベント・サービスを意識実践すると共に、企画側と観覧側の接点（ギャラリートーク等）を行い、親しまれる事業を進めます。 ⑥食育事業 ・安心安全の学校給食をはじめ、生活における食の大切さ、食を通じた健康教育の推進を図り、命の大切さを伝えます。
		R6目標	①人口減少対策として、ヤマメ・サクラマスプロジェクトを継続し、児童生徒の市内企業訪問や職場体験、市内の企業紹介、人材紹介（ガイドブック作成）など、常に新しい発想でトライします。 ②コロナ禍でも学びを止めない新しい手法と発想で生涯学習、社会教育を展開し、eスポーツの環境整備、公民館事業の新メニューの開拓など若者のゆるやかな交流の場づくりにトライします。 ③GIGAスクール構想として、ICTを活用したシステムの積極的な運用と新しい手法の研究をします。 ④読書活動を推進するために図書館・学校・地域とのネットワークを構築し、本のサブスクやスマホでの予約など新しい発想で充実した読書環境を整えるとともに、テーマ展示やイベントを行います。 ⑤食育をSDGsの視点などの新しい発想で推進します。
	(4) 心身共に健康で	R7目標	自らの体調管理はもとより仲間の健康管理にも気を配り、相互理解のもと仕事と私生活のバランスを良好に保ち、充実した労働・生活をするよう努めます。 PHRを用い生活習慣を振り返り、疾病を未然に防ぐ体づくりにつなげます。
		R6目標	①市職員、教職員とも、衛生委員会での情報共有や改善施策の検討をはかり、職場では、常に報告・連絡・相談を徹底し、一人で悩まず、みんなで解決したり気軽に相談したりできる職場環境づくりに努めます。 ②心身の状況に配慮し、働きやすい職場環境をつくるとともに、本人のみならず、家族が健康であることがより良い業務遂行につながると意識を徹底します。
	(5) 市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R7目標	①地域の皆様の意見や特技等を活かして地域の潜在的な教育力を学校教育に活用するコミュニティスクールの取り組みを広げます。 ②ふるさとの未来をつくる若者、未来の地域を支える意欲と市を背負って立つ自覚と高い志あふれる子どもを育てるため、市内企業と連携し仕事体験や実習の機会を創り、地域活性につなげます。
		R6目標	①地域の重要な位置付けとなっている学校は、地域住民と意思を共有し、協働して活動する地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの導入を推進します。 ②社会教育、生涯学習として障がい者支援機関や若年層組織と柔軟に連携します。 ③読書活動では、園や学校等と地域が連携できるよう支援を行い、各課と連携したテーマ展示を図書館・学習資料館で開催します。 ④給食食材の生産者・納入事業者・提供者が情報を共有し、地域への経済波及効果や食材の安心度が向上するよう積極的に連携します。
	(6) コスト・成果にこだわる	R7目標	①市民や子どもたちの学ぶ環境については、安全・安心であることを第一優先とし、コストダウンに努め多様性、柔軟性、協働的な学びを目指す教育を実施します。 ②「食」を通じた健康教育の推進に努め、命の大切さを伝えて食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ります。 ③仙北市行財政改革にかかる事務・施策評価、外部評価も含めた教育委員会事務事業点検評価を毎年行い、成果とコストのバランスがとれた事業を計画的に実行します。
		R6目標	①市民や子どもたちの学ぶ環境については、安全・安心であることを第一優先とし、コストダウンに努めながら、子どもたちを含む市民に価値ある影響を与え続けます。 ②栄養バランスの取れた食事を継続することで得られる健康の保持増進等は、生活習慣病の予防となるため、将来的な医療費削減に繋がります。 ③仙北市行財政改革にかかる事務・施策評価、外部評価も含めた教育委員会事務事業点検評価を毎年行い、成果とコストのバランスがとれた事業を計画的に実行します。

4. 6つの重要視すべき価値R6目標に対する総括	学校教育では未来の仙北市を担う子どもを育てるため、骨太の人間の育成、仙北市プライドの醸成を目指し「授業でこそ人づくり」「子どもの心に灯をともし指導」をテーマに、社会教育では、市民に上質な文化を提供するを合い言葉に市民目線でフットワークを軽くして各事業を実践・展開しました。 目標を明確にし、市民ニーズを的確に把握しながらあらゆる手段を活用して成果を高めていく手法こそが市民の幸福度を上げることに繋がるとの確信の下、徹底した現場主義を貫き、要望に真摯に向かい合い、応えていくやり方を進めました。 職員同士が話し合い、悩み、考え、連携、試行錯誤しながらもその歩みは力強さを増してきています。引き続き学校や市民の要望に真摯に向き合い、その要望に応える努力を継続します。 令和7年度も子どもたちや学校、市民の要望に真摯に向かい合い、より良い社会を創るという目標を共有し、地域と連携・協働しながら、未来の作り手となる子どもたちに必要な資質・能力を育むことを実現するよう、ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業、コミュニティスクール事業、学校適正配置関連事業をより一層推進します。 事業を進める上では、「良いまちには良い学校がある。良い学校は良いまちにある」を念頭に、誰かがなんとかしてくれる、のではなく、市民自らが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく意識を高めます。 また、地域の教育力を活かし「子どもが育つ学校」という概念にとらわれず、「関わる人全てが育つ学校」の考えを浸透させ、参加から参画、協力から協働により、関わる全ての人が当事者になることで、子どもたちが幸せに安心して暮らせるまち、子どもたちが「志」を果たしていけるために未来を創り上げていくまちの当事者として、達成感、満足度向上につなげていきます。 子どもたちは、地域の方と触れあうことでコミュニケーション能力の向上が図られ、感謝の気持ちが湧き、自分が住んでいるまちがもっと好きになることにつなげます。 そのためにも問題、課題はもとより、その改善点、解決策、ヒント、方向性が併存している現場主義にこだわり、市民目線でフットワークを軽くして市民サービスを提供します。
---------------------------------	---

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI）
課題1	○施策名（関係する課）	①ふるさとを愛し、地域社会の未来を支える意欲と高い志にあふれる子どもを育てるため、次の施策を行う。 A キャリア教育・ふるさと学習支援事業 ・各学校の教育目標に沿った地域資源を活かした体験活動 B ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業 ・小学生職場体験 ・企業PRポスター作成 ・夢ガイドブック作成 ・中学生職業講座（企業説明会）開催 ・職場訪問・職場体験 ・キャリアマイスターによる講演 C コミュニティ・スクールの推進 ・地域住民の特技を活かした教育力を学校教育に活用 D国際交流事業 ・社会のグローバル化や国際化に柔軟に対応できる子どもの育成	AB) 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の肯定的回答 小学校： 61.8%（2022実績） 93.4%（2024実績） 95.0%（2025目標） 中学校： 50.5%（2022実績） 84.3%（2024実績） 85.0%（2025目標） C) コミュニティ・スクール導入校 0校（2022実績） 7校（2024実績） 10校（2025目標） D) 国際交流事業が役立ったとの回答 中学校： 0.0%（2024実績） 20.0%（2025目標）
	未来を担う子どもたちの育成（北浦教育文化研究所、学校教育課、商工課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民意識調査－未来を担う子どもたちの育成の満足度「満足＋やや満足」の割合 17.3%（2024）→20.0%（2025）		
	○関係計画等		
課題2	・仙北市の教育 ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト	①市内小中学校の環境（ハード・ソフト面）を充実させるため、次の施策・事務を行う。 A 諸工事事業 B 維持修繕事業（学校施設の維持） C 中学校部活動指導員配置事業 D校務支援システム運用事業	A) 学校要望事業の実施率 60.0%以上（2024実績） 60.0%以上（2025目標） B) 学校要望事業の実施率 70.0%以上（2024実績） 70.0%以上（2025目標） C) 中学校文化部への部活動指導員配置率 20.0%（2024実績） 40.0%（2025目標） D) 市内小中学校における校務支援システム導入率 0.0%（2024実績） 100.0%（2025目標）
	○施策名（関係する課）		
	学校環境（ハード・ソフト面）の充実（各小中学校、学校教育課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民意識調査－学校環境の充実「満足＋やや満足」の割合 28.5%（2024）→35.0%（2025）		
	○関係計画等		
	・仙北市の教育 ・学校施設環境改善計画		

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI）
課題3	○施策名（関係する課）	①ICTを活用した学校教育の充実のため、GIGAスクール構想推進事業を拡大する。 A GIGAスクール構想推進事業 ・学校情報支援専門官の配置による環境整備 ・ICT(情報)支援員の配置によるスキルの指導・支援 ・専用回線プロバイダ契約料、フレッツ光ネクスト使用料、ICT授業サポート業務、保守業務委託、フィルタリングソフト使用料等、GIGAスクール教職員向け研修、パスワード・ID管理、年次更新、トラブルシューティング、教育DXへの対応	A) 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「児童生徒が日常的にICTを使っている：週3以上使用割合 小学校 82.7%（2022実績） 48.2%（2024実績） 55.0%（2025目標） 中学校 29.6%（2022実績） 46.5%（2024実績） 55.0%（2025目標）
	ICTを活用した学校教育の充実（北浦教育文化研究所、学校教育課）		
	○達成水準（KGI）		
	子どもたちが未来に生きるICTスキルを身につける。 【KGI】 全ての学校でタブレット持ち帰り完全実施100%		
	○関係計画等		
	・仙北市の教育 ・情報学習支援員派遣事業		
課題4	○施策名（関係する課）	①将来に持続可能で望ましい小・中学校の適正規模・配置について、2026年度までに「学校適正配置計画」を策定する。 A 学校適正配置関係事業 ・児童生徒の保護者をはじめ市民との意見交換会を開催し、計画策定に向けて意見交換を行う ・学校適正配置検討委員会を設置し、市民の意見を踏まえた上で、更に様々な視点から計画内容を検討する ・統合校候補校舎の改修事業費を比較するための調査委託業務を実施する。	A) 住民意見交換会等開催回数累計 71回（2023実績） 125回（2024実績） 160回（2025目標）
	持続可能で望ましい学校の適正配置（学校適正配置準備室、管財課）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民意識調査－持続可能で望ましい学校の適正配置の満足度「満足+やや満足」の割合 27.4%（2024）→35.0%（2025）		
	○関係計画等		
	・第2次仙北市総合計画 ・仙北市の教育 ・学校適正配置計画（素案）		
課題5	○施策名（関係する課）	①仙北市を舞台にふるさとの未来をつくる若者を育てるため、次の施策を推進・促進する。 A 学校・家庭・地域連携総合推進事業 ・地域学校協働本部 B 二十歳の集い C 勤労青少年ホーム管理運営事業	A) 地域学校協働活動に係るボランティア（延べ）数 249人（2023実績） 342人（2024実績） 355人（2025目標） B) 参加率 74.3%（2023実績） 77.2%（2024実績） 80.0%（2025目標） C) 勤労青少年ホームの年度利用者数 6,518人（2023実績） 9,977人（2024実績） 7,500人（2025目標）
	若者の交流、定着（土着）支援（生涯学習課、各公民館、小中学校）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民意識調査－多様な教育文化の交流の場づくりの満足度「満足+やや満足」の割合 15.6%（2024）→20.0%（2025）		
	○関係計画等		
	・第2次仙北市総合計画 ・仙北市の教育 ・第4次仙北市社会教育中期計画 ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト		
課題6	○施策名（関係する課）	①多様な学習機会の提供はもとより、自主的な学習活動の支援、学習成果発表の支援を行なうため、次の施策を行う。 A 公民館活動推進事業（若者向けメニューの講座開催） B 仙北市文化祭開催補助金事業 C 市民会館自主事業（DRUM TAOツアー公演、自衛隊音楽隊コンサート等のイベント開催）	A) 若者向けメニュー講座 3件（2023実績） 7件（2024実績） 8件（2025目標） 生涯学習講座数 47件（2023実績） 53件（2024実績） 55件（2025目標） 公民館講座参加人数 2,004人（2023実績） 1,575人（2024実績） 2,100人（2025目標） B) 文化祭来場者数 400人（2022実績） 1,445人（2024実績） 1,500人（2025目標） C) 自主事業実施数 6回（2023実績） 5回（2024実績） 8回（2025目標） 来館者数 3,971人（2023実績） 6,930人（2024実績） 4,500人（2025目標）
	多様な教育文化の交流の場づくり（生涯学習課、各公民館、市民会館）		
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民意識調査－多様な教育文化の交流の場づくりの満足度「満足+やや満足」の割合 15.6%（2024）→20.0%（2025）		
	○関係計画等		
	・仙北市の教育 ・ヤマメ・サクラマスプロジェクト ・第4次仙北市社会教育中期計画		

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題7	○施策名（関係する課） 読書活動の推進 (学習資料館、田沢湖図書館、生涯学習課)	①読書活動の推進のため、図書館機能の充実やサービスについて、次の施策を行う。 A 学習資料館利用促進事業 ・学習資料館人材確保（会計年度任用職員）、読書普及及びイベントの実施 B 図書館サービス拡充事業 ・田沢湖図書館人材確保（会計年度任用職員）、読書普及及びイベントの実施 C 学校図書館支援事業 ・児童生徒の読書の促進に係る学校図書環境整備の実施 D 図書館情報システム管理運営事業（共通） E 学習資料整備事業（図書の購入） F 図書資料購入事業（図書の購入） G 子ども読書活動推進事業（共通）	A) 学習資料館 来館者数 34,299人(2023実績) 34,365人(2024実績) 34,000人(2025目標) 学習資料館 住民1人当たり貸出冊数 2.30冊(2023実績) (2024実績未確定) 2.50冊(2025目標) B) 田沢湖図書館 来館者数 19,648人(2023実績) 19,047人(2024実績) 22,000人(2025目標) C) 学習資料館 児童・生徒1人当たり貸出冊数 14.00冊(2023実績) 12.15冊(2024実績) 18.00冊(2025目標) D) 学習資料館 貸出人数 9,638人(2023実績) 9,323人(2024実績) 11,000人(2025目標) 田沢湖図書館 13～59歳登録者数における利用者数の割合 7.24%(2023実績) 7.20%(2024実績) 10.00%(2025目標) E) 学習資料館 図書購入冊数 1,582冊(2023実績) 1,578冊(2024実績) 1,800冊(2025目標) F) 田沢湖図書館 住民1人当たり貸出冊数 2,23冊(2023実績) (2024実績未確定) 2,50冊(2025目標) G) 学習資料館 個人貸出冊数(児童書) 6,303冊(2023実績) 5,570冊(2024実績) 6,400冊(2025目標) 田沢湖図書館 個人貸出冊数(児童書) 3,167冊(2023実績) 3,197冊(2024実績) 4,500冊(2025目標)
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民意識調査－読書活動の推進の満足度 「満足+やや満足」の割合 30.5%(2024)→38.0%(2025)		
	○関係計画等		
	・仙北市の教育 ・仙北市市民読書条例 ・第4次仙北市社会教育中期計画 ・第3次仙北市子ども読書活動推進計画		
課題8	○施策名（関係する課） 地域に根ざした文芸、美術作品の充実と周知 (学習資料館・イベント交流館、角館町平福記念美術館)	①郷土の画人、文人を顕彰し、文芸、美術作品の紹介をするため、他の施設と連携した事業も検討しながら次の施策を行う。 A イベント交流館展示事業 B 美術館常設・企画展示事業 C 児童生徒県南美術展開催事業	A) イベント交流館入館者 3,166人(2023実績) 2,957人(2024実績) 3,300人(2025目標) B) 角館町平福記念美術館常設・企画展示入館者 8,175人(2023実績) 8,424人(2024実績) 8,500人(2025目標) C) 入館者数 2,754人(2023実績) 2,595人(2024実績) 2,900人(2025目標)
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民意識調査－地域に根差した文芸、美術品の充実と周知の満足度「満足+やや満足」の割合 26.2%(2024)→30.0%(2025)		
	○関係計画等		
	・仙北市の教育 ・第4次仙北市社会教育中期計画		
課題9	○施策名（関係する課） 安全安心な給食の提供 (総合給食センター)	①安全安心な給食の提供を行うため、次の施策を行う。 A 給食材料事業(地産地消の推進) B 思い出の給食の実施 ※思い出の給食:小学6年生と中学3年生を対象に、学校生活の楽しい思い出の一品として、友達との食事を楽しみ、他人を思いやる心が育つよう提供する「スペシャル給食」	A) 地元食材の使用率 22.6%(2023実績) 30.5%(2024実績) 25.0%(2025目標) B) 思い出の給食実施回数 11回(2023実績) 11回(2024実績) 10回(2025目標)
	○達成水準（KGI）		
	【KGI】 市民意識調査－安心安全な給食の提供の満足度「満足+やや満足」の割合 38.8%(2024)→43.0%(2025)		
	○関係計画等		
	・仙北市の教育 ・仙北市食育推進計画		



2025年度 部局経営方針シート

秋田県仙北市

医療局	部(局)	記入年月日	令和 7 年 4 月 1 日	部(局)長名	村瀬 克広	記入者所属氏名	医療局 村瀬 克広
-----	------	-------	----------------	--------	-------	---------	-----------

1.部の役割・使命	医療局は、市立田沢湖病院、市立角館総合病院の抜本的な経営改善を進め、地域の病院として、持続可能な医療提供体制を確保し幸福度全国No.1のまちづくりに努めます。実行にあたり、市民に寄り添った医療を提供し、市民から愛され、信頼される病院を目指します。	2.部の人的資源(人) 20250401 現在	正職員	259
			会計年度	113

3 ・ 6 つ の 重 要 視 す べ き 価 値	(1) 市民一人ひとりのために	R7目標	常に患者の声に耳を傾け、受付から診察を終えるまで患者の思いに寄り添った接遇と医療提供に努めます。
		R6目標	事業を進める上で、患者の疾病構造の変化などに配慮します。
	(2) 常に目標・目的を問い続け	R7目標	人口減少が急速に進む中、仙北市地域医療計画（経営強化プラン）を基に病床数などを検討し、実情に合った数値目標の見直しを行いながら医療提供体制の構築を図ります。
		R6目標	安定した経営のもとに、良質で持続可能な医療を提供できるよう必要に応じて検討・協議を重ねます。
	(3) 新しい手法・発想へのトライを続け	R7目標	医療DXなどの新しい手法の検討を重ね、次世代のヘルスケア・システムの構築を目指します。
		R6目標	医療DXなどの新しい手法を検討することで、次世代のヘルスケア・システムの構築を目指します。
	(4) 心身共に健康で	R7目標	36協定（労働基準法第36条に基づく労使協定）を基盤に労務管理の一層の適正化を図り、職員の心身の健康を確保し医療サービスの向上に努めます。
		R6目標	36協定（労働基準法第36条に基づく労使協定）に加え、宿日直許可の取得など、労務管理の一層の適正化を図り、職員の心身の健康を確保します。
	(5) 市役所内・市民・企業・団体などと柔軟に連携し	R7目標	地域包括ケアの連携強化に向け、多職種による連携を積極的に推進します。
		R6目標	同上
	(6) コスト・成果にこだわる	R7目標	購買適正化等を推進し、経費の削減や業務の改善に繋がります。
		R6目標	同上

4. 6つの重要視すべき価値R6目標に対する総括	患者数の減少や人件費・物価の高騰など、両市立病院は更に厳しい経営環境にあります。令和7年度は経営健全化計画を策定し、深刻な資金不足の解消に向け、病床機能の見直しや病床数の最適化に取り組むとともに、職員一人ひとりが危機的状況を認識し、より一層、医療サービスの向上に努めます。 令和6年度から角館総合病院に設置した秋田大学と連携による「仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座」では、指導医1名の赴任効果もあり、同病院では、入院患者数及び医業収益が対前年度比で増加する見込みです。
--------------------------	--

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業 ※ 原則として財務会計上の事業に基づいての記載となるが、それに含まれない活動の記載も可	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題1	○施策名（関係する課）	①役割・機能の最適化と連携の強化 今後、持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用することが必要です。 このため、地域の中で各公立病院が担うべき役割や機能を改めて見直し、明確化、最適化した上で、病院間の連携を強化する「機能分化・連携強化」を推進します。 仙北市地域医療計画（公立病院経営強化プラン）及び令和7年度に策定する経営健全化計画を着実に実行し資金不足の解消を図り、患者からの信頼が病院経営の基盤であることを念頭に経営改善に全力を尽くします。 A 秋田大学との連携 （寄附講座の開設、総合診療科医の派遣、専門医派遣による指導育成、検査業務の連携等） B 大曲厚生医療センターとの連携強化 （医師派遣、入院患者の転院、医療機器の共同利用） C 田沢湖病院と角館総合病院の連携強化（医療スタッフの連携） D 近隣病院、派遣元病院との連携強化（訪問活動、患者紹介等） ※患者満足度調査実施（両病院共通 2023～） ■病床機能、外来診療体制の構造改革 ●田沢湖病院 E 地域包括ケア病床の運用等 ●角館総合病院 F 病棟再編、病床数の最適化、診断群分類包括評価（DPC）の導入に向けた取組み（準備病院の最終年）、外来診療体制の再編 G 薬剤管理指導の推進（病棟薬剤指導） H 検診・人間ドック枠の拡充 I 玉川温泉との連携強化（湯治客等のオンライン診療） J 接遇等に係る院内巡回によるチェック （結果については、接遇向上対策委員会で検証し再発防止、改善策をフィードバックする。）	・患者等クレーム件数 （患者相談窓口、ご意見箱等） 田沢湖病院： 2023実績（7件） 2024実績（未確定） 2025目標（0件） 角館総合病院： 2023実績（27件） 2024実績（未確定） 2025目標（10件） ・入院患者数（1日平均） 田沢湖病院： 2023実績（39.0人） 2024実績（未確定） 2025目標（52.0人） 角館総合病院： 2023実績（117.4人） 2024実績（未確定） 2025目標（145.0人） ・外来患者数（1日平均） 田沢湖病院： 2023実績（105.7人） 2024実績（未確定） 2025目標（130.0人） 角館総合病院： 2023実績（415.0人） 2024実績（未確定） 2025目標（465.0人） ・診療単価（入院） 田沢湖病院： 2023実績（23,903円） 2024実績（未確定） 2025目標（25,500円） 角館総合病院： 2023実績（40,316円） 2024実績（未確定） 2025目標（41,911円） ・診療単価（外来） 田沢湖病院： 2023実績（6,998円） 2024実績（未確定） 2025目標（7,000円） 角館総合病院： 2023実績（9,782円） 2024実績（未確定） 2025目標（10,129円）
	○達成水準（KGI）		
	市民に寄り添った医療を提供し、持続可能な医療提供体制の構築 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度（病院等の充実）40%以上 2024:24.8% ・経常収支比率98.45%以上 2023:92.68% ・患者満足度調査（入院・外来）50%以上 2023:93.4%		
	○関係計画等		
課題2	○施策名（関係する課）	①医師・看護師等の確保と働き方改革の推進 2024年4月から、医師の時間外勤務の時間が大幅に削減となり、労働基準監督署から宿日直の許可の取得が求められていたところであるが、令和5年度に産婦人科及び救急外来当直の許可を取得したところです。 この様に医療資源の減少が進む中、一層医師等の働き方改革の取組みが求められている状況である。医師・看護師等の確保に加え、医師の時間外労働規制への対応等、労働環境の改善を進めながら、医療スタッフの確保を図ります。 I 医師、看護師等を目指す人材育成 （中高生の医療現場体験、企業説明会への参加等・秋田県、商工課、教育委員会等との連携） （秋田大学医学部での学生を対象とした病院説明会への参加） J 仙北市修学資金貸与制度の推進 K 秋田大学への寄附講座の設置 （「仙北ウェルビーング地域医療・総合診療連携講座」を設置し、地域医療人材の育成及び確保の推進） ※職員やりがい度調査実施（両病院共通 2023～）	・医師数 田沢湖病院： 2023実績（4人） 2024実績（5人） 2025目標（8人） 角館総合病院： 2023実績（16人） 2024実績（18人） 2025目標（20人） ※各年度4月1日現在、研修医は含まない。 ・看護師数 田沢湖病院： 2023実績（38人） 2024実績（36人） 2025目標（39人） 角館総合病院： 2023実績（141人） 2024実績（143人） 2025目標（139人） ・看護師等修学資金貸付金貸与者数 ※R7年度制度改正（看護師等枠）新規： 2023実績（1人） 2024実績（0人） 2025目標（1人） 累計： 2023実績（24人） 2024実績（24人） 2025目標（25人） ・医師事務作業補助者数 田沢湖病院： 2023実績（0人） 2024実績（0人） 2025目標（2人） 角館総合病院： 2023実績（7人） 2024実績（7人） 2025目標（7人）
	○達成水準（KGI）		
	市民に寄り添った医療を提供し、持続可能な医療提供体制の構築 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度（病院等の充実）40%以上 2024:24.8% ・経常収支比率98.45%以上 2023:92.68% ・職員やりがい度調査50%以上 2023:59.9%		
	○関係計画等		
	○関係計画等	・仙北市地域医療計画 （公立病院経営強化プラン）	

5. 取り組む課題と目標とする達成水準（組織目標）		課題を解決するための手法及び事業	指標及び目標値（KPI） （※実績未確定数値については、実績確定後修正）
課題3	○施策名（関係する課）	①新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 国の第8次医療計画の記載事項として「新興感染症等の感染拡大時の医療」が加わることを踏まえ、感染拡大時に活用しやすい病床等の整備、各医療機関の間での連携・役割分担の明確化、専門人材の確保・育成等に努めます。 また、秋田県の感染予防計画改定に伴い、新興感染症の発生時に迅速かつ的確な医療提供体制を確保するため、あらかじめ体制を定める「秋田県医療措置協定」を両病院共に締結しました。病床確保は角館総合病院で9床、両病院で発熱外来を開設する内容となっています。 L 新型コロナウイルス感染症患者の両病院での入院受入れ M 発熱外来の設置（継続） N 秋田県医療措置協定	・新型コロナウイルス感染症患者病床の確保 田沢湖病院： 2023実績（2床） 2024実績（2床） 2025目標（2床） 角館総合病院： 2023実績（17床） 2024実績（8床） 2025目標（8床） ・発熱外来患者数 田沢湖病院： 2023実績（1,401人） 2024実績（1,263人） 2025目標（1,000人） 角館総合病院： 2023実績（4,282人） 2024実績（3,394人） 2025目標（3,830人）
	新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 （田沢湖病院、角館総合病院、医療管理課、経営企画推進室）		
	○達成水準（KGI）		
	新興感染症の感染拡大時や災害などの大規模な健康危機への積極的な対応に努め、自治体病院としての責務を果たす 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度（病院等の充実）40%以上 2024：24.8% ・患者満足度調査（入院・外来）50%以上 2023：93.4% ・災害拠点病院、日本DMAT指定病院の維持（角館総合病院）		
	○関係計画等		
	・仙北市地域医療計画 （公立病院経営強化プラン）		
課題4	○施策名（関係する課）	①施設・設備の最適化 施設・設備の適正管理と整備費の抑制等に努めます。また、人口減少と労働力不足により、デジタルトランスフォーメーション（DX）を進めていくことは避けては通れません。積極的にデジタル化を推進し病院運営の効率化や医療の質の向上に繋がります。 O 購買適正化の推進 P 医療Maasとの連携 ●田沢湖病院 Q 電子カルテシステムの円滑運用 ●角館総合病院 R 急性期画像連携等 ・電子カルテ用プリンタートナーのリサイクル品への変更 ・入院セット導入に伴うディス posta オール提供による診療材料費の削減	※上記課題1の目標値、患者数、診療単価（入院、外来）と同じ ・材料費（薬品費等）、経費 病院事業： 2023実績（1,312,975千円） 2024実績（未確定） 2025目標（1,408,000千円以下） 田沢湖病院： 2023実績（209,351千円） 2024実績（未確定） 2025目標（265,000千円以下） 角館総合病院： 2023実績（1,103,624千円） 2024実績（未確定） 2025目標（1,143,000千円以下）
	施設・設備の最適化 （田沢湖病院、角館総合病院、医療管理課、経営企画推進室）		
	○達成水準（KGI）		
	市民に寄り添った医療を提供し、持続可能な医療提供体制の構築 【KGI】 ・市民意識調査 市民満足度（病院等の充実）40%以上 2024：24.8% ・経常収支比率98.45%以上 2023：92.68% ・材料費対医業収益比率 田沢湖病院12.9%以下 2023：11.6% 角館総合病院16.7%以下 2023：18.3%		
	○関係計画等		
	・仙北市地域医療計画 （公立病院経営強化プラン）		